



今週のPOINT

国内株式市場

短期的な過熱感は解消も、為替の乱高下は大型株の売買手控え要因に

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

花王【プライム 4452】ほか

テーマ別分析

KADOKAWAサイバー被害で関心高まるサイバーセキュリティ関連

話題のレポート

「もしトラ」から恩恵を受ける可能性がある日本株

スクリーニング分析

株価の出遅れ感が意識される好業績銘柄を見直したい局面

今週から国内でも主力企業の4-6月期決算発表がスタート

| | | | | | |
|---|----------|-------------------|----------------------|------------------|----|
| 1 | 今週の市場見通し | 国内株式市場 | マーケット概観 | 3 | |
| | | | 新興市場 | 4 | |
| | | 米国株式市場 | | 5 | |
| | | 為替市場 | 米ドル/円予想レンジ | 6 | |
| | | 債券市場 | 債券先物・長期国債利回り予想レンジ | 6 | |
| | | | | | |
| 2 | マーケットを読む | 今週のポイント | | 7 | |
| | | 日経平均株価 | | 8 | |
| 3 | 今週の分析銘柄 | FISCO Selection | 花王〈4452〉プライム | 9 | |
| | | | 大塚ホールディングス〈4578〉プライム | 10 | |
| | | | ANYCOLOR〈5032〉プライム | 11 | |
| | | | pluszero〈5132〉グロース | 12 | |
| | | | ブルーイノベーション〈5597〉グロース | 13 | |
| | | | TOWA〈6315〉プライム | 14 | |
| | | | タダノ〈6395〉プライム | 15 | |
| | | | オリンパス〈7733〉プライム | 16 | |
| | | | | | |
| | | | 読者の気になる銘柄 | 安川電機〈6506〉プライム | 17 |
| | | | | Sansan〈4443〉プライム | 17 |
| | | | | | |
| | | | テクニカル妙味銘柄 | 三井不動産〈8801〉プライム | 18 |
| | | 野村総合研究所〈4307〉プライム | 18 | | |
| 4 | カテゴリー考察 | テーマ別分析 | | 19 | |
| | | スクリーニング分析 | | 20 | |
| | | 先週の話題レポート | | 21 | |
| | | 信用需給動向 | | 22 | |
| 5 | 連載コラム | | | 23 | |

短期的な過熱感は解消も、為替の乱高下は大型株の売買手控え要因に

■史上初めて 42000 円に乗せた後に急落

先週の日経平均は週間で 278.31 円高(+0.68%)の 41190.68 円と上昇。引き続き外国人投資家と思われる TOPIX コア 30 銘柄など大型株を中心とした買いが入ったことで、日経平均、TOPIX は連日で史上最高値更新となった。値が半導体株や精密機器などハイテク株も買われたほか、先物市場では買い戻す動きなども入り、11 日に日経平均は史上初の 42000 円台まで上げ幅を広げた。ただ、11 日の米 6 月消費者物価指数 (CPI) が市場予想を大幅に下振れたタイミングで円高ドル安が加速。一時 4 円超も円高が進行したことで政府・日本銀行による円買い介入実施との見方も浮上し、週末の東京市場はハイテク株中心に急落。1033.34 円安と今年最大の下落幅となり、週末に算出された 7 月限オプション特別清算指数 (SQ 値) の 41531.26 円を下回った。

なお、7 月第 1 週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は現物を 1924 億円買い越したほか、TOPIX 先物を 2483 億円買い越し、225 先物は 4223 億円買い越したことから、合計 8630 億円の買い越しとなった。一方、個人投資家は現物を 5104 億円売り越したほか、信託は現物を 522 億円と買い越した。

■25 日 MA との乖離率は+3.6%まで低下

12 日の米国株式市場は上昇。ダウ平均は前日比 247.15 ドル高(+0.62%)の 40000.90 ドル、ナスダックは 115.04 ポイント高(+0.63%)の 18398.45、S&P500 は 30.81 ポイント高(+0.55%)の 5615.35 で取引を終了。大証ナイト・セッションの日経 225 先物は、通常取引終値 20 円高の 41190 円で取引を終えた。

日経平均は週末の急落によって、11 日の取引時間ベースで 7%超まで拡大していた 25 日移動平均線との上方乖離率が 3.6%まで縮小。短期的な上昇に対する過熱感は解消されつつある。足元の日経平均の上昇は、東京エレクトロン<8035>やアドバンテスト<6857>など半導体株や、アップル関連銘柄の TDK<6762>など指数に影響力がある銘柄の影響が大きかったため、週末のアンワインドによって日経平均は 1000 円超の急落となった。一方、日経平均急落のなかでも、プライム市場全体の 6 割の銘柄が上昇するなど日本株の底堅さは確認できたことはポジティブな材料だ。また、金利低下を背景に不動産株が買われたほか、円高進行を受けてニトリホールディングス<9843>、ニチレイ<2871>など円高メリット銘柄が買われるなど活発な循環物色が確認できたことから、投資家マインドはさほど悪化していないと考える。短期的な過熱感が解消されたことで、仕切り直しを迎えたと前向きに捉えることもできよう。

■慌ただし為替市場は様子見姿勢強まる材料に

為替市場は非常に慌ただし。11 日発表の米 CPI は、前月比で上昇すると市場予想に反して 0.1%低下。米連邦準備制度理事会 (FRB) が 9 月にも利下げを開始するとの見方が強まったことから、米 10 年国債利回りは 4.16%まで低下した。ドル・インデックスは 104.6 から 103.8 まで低下するなどドルは主要通貨に対して売り優勢となった。一方、米 CPI 発表後、円は主要通貨に対して全面高となったことから、市場では政府・日銀が円買い介入を行ったとの見方が強まっている。介入を実施したとなれば、既に 4 月 26 日—5 月 29 日に 9 兆 7885 億円を介入に費やしていることから、米財務省が為替報告書で定める操作国認定基準のひとつの項目である「介入額が GDP の 2%を超える場合」に、総額では並んだ、もしくは超えた可能性がある (名目 GDP (591 兆円) の 2%の約 12 兆円)。もっとも、操作国認定基準では「過去 12 カ月間で 8 カ月以上外貨買い介入を実施」している点も存在することから、数回、円買い介入を実施しただけでは基準に該当しないという整理は十分可能だ。

一方、12 日の朝方には「日銀が対ユーロでレートチェックを実施」と伝わったことで、円は瞬間的に対ユーロで 2 円ほど円高ユーロ安が進む場面が見られた。1999 年から 2003 年にかけて、政府・日銀が円売りユーロ買いの介入を実施したことはあるが、円買いユーロ売りの介入実績はない。円買いユーロ売り介入実施となれば歴史的な事象となる。つまり、為替市場は対ドル、対ユーロともに非常に神経質な地合いを迎えている。為替市場の乱高下は、海外売上高比率が高い銘柄に大きな影響を与えることから、自動車株を筆頭に輸出関連銘柄の多くは積極的な売買が手控えられそうだ。

■18 日に ECB 理事会

今週は、国内では、18 日に 6 月貿易収支、19 日に 6 月 CPI などが予定されている。

海外では、15 日に中・6 月新築住宅販売価格、4-6 月国内総生産 (GDP)、6 月鉱工業生産、小売売上高、欧・5 月ユーロ圏鉱工業生産指数、米・7 月 NY 連銀製造業景気指数、16 日に独欧・7 月 ZEW 景況感指数、5 月ユーロ圏貿易収支、米・6 月小売売上高、輸出物価指数、17 日に NZ・4-6 月 CPI、英・6 月 CPI、小売物価指数、生産者物価指数、米・6 月住宅着工件数、鉱工業生産指数、週次原油在庫、18 日に南ア・南アフリカ準備銀行 (中央銀行) が政策金利発表、豪・6 月失業率、英・6 月失業率、欧・欧州中央銀行 (ECB) が政策金利発表、米・週次新規失業保険申請件数、7 月フィラデルフィア連銀景況指数、19 日に英・6 月小売売上高などが予定されている。

グロース市場 250 指数は 200 日線突破の攻防へ

■先週末の勢いが続くか注目

今週の新興市場は、米国市場次第かもしれないが、先週末の勢いが続くか注目されよう。グロース市場250指数は、上値抵抗として意識されていた75日移動平均線を明確に上回った。売買代金も増加したことで上への意識は強まりやすい状況と言えよう。686ポイントで推移する200日移動平均線を上回る展開となれば、今年4月1日以来となる。25日移動平均線が上向いている状況下、こうした節目を上回ってくると、時価総額が大きい主力株を中心としたしっかりとした相場展開が期待できよう。日々のグロース市場全体の売買代金が2000億円前後となれば、プライム市場の中小型株で売買していた個人投資家もグロース市場に参戦しやすくなると思われる。

■物色の対象は引き続き主力処・バイオ・決算銘柄か

今週予定されている新規株式公開（IPO）は、18日にカドス・コーポレーション<211A>がスタンダードへ上場するだけなので、物色の対象は引き続き主力銘柄とバイオ銘柄、そして、決算銘柄となるだろう。12日引け後の決算銘柄では、今期営業損益見通しを黒字に上方修正したELEMENTS<5246>、今期経常利益を前期比4.9倍の過去最高益見通しとしたビザスク<4490>、好業績で上場後初めての配当実施を発表したロゴスホールディングス<205A>、経常利益が5期連続で過去最高を更新する見通しのCocolive<137A>、従来無配としていた今期配当を実施するAHCグループ<7083>などが週明けは注目されそうだ。こうした決算銘柄は短期的な資金の流出入が激しいものの、日替わりで循環物色が続くことで投資家の物色意欲の強さを確認することもできよう。

東証グロース市場 250 指数



ビザスク<4490>



ELEMENTS<5246>



決算発表が本格化するなか、中小型株物色強まるか注目/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

先週の米国株は上昇。週間ベースの騰落率は、NY ダウが+1.59%、ナスダックは+0.25%、S&P500 は+0.87%と NY ダウの上昇が目立った。注目されたパウエル連邦準備制度理事会（FRB）議長の上院及び下院議会証言においては、利下げの条件が整いつつあることを示唆したものの、時期を明確化しなかったことで、10年国債利回りは4.3%前後の小動きとなった。しかし、11日の6月消費者物価指数（CPI）が市場予想を大幅に下振れたことで9月利下げ観測が強まり、10年債利回りは4.1%台まで低下。利下げ期待で不動産関連株が買われたことなどからNYダウが上昇し、2カ月ぶりに40000ドル台を回復。取引時間ベースの史上最高値を更新した。一方、ナスダックは、6月の史上最高値に接近していたエヌビディアが失速したことなども影響し上値は重くなった。

個別では、オンライン中古車販売プラットフォームを提供するカーバナは、アナリストの投資判断引き上げで上昇。製薬会社のイーライリリーは、アナリストの目標株価引き上げで上昇した。住宅建設会社のKBホームなどは住宅ローン金利低下で、売上増への期待感が強まったことで上昇。製薬会社のファイザーは、同社の肥満治療薬の開発がさらに前進したことを明らかにし上昇。高級電気自動車メーカーのルーシッドは、サウジアラビアの政府系ファンド、パブリック・インベストメント・ファンド（PIF）との長期にわたる提携に前向きな姿勢を最高経営責任者（CEO）が示しことから上昇した。一方、通信のAT&Tは、過去から現在までの顧客データへの大規模なサイバー攻撃があり、サードパーティのスノーフレックのクラウドプラットフォーム上のワークスペースで情報が不正にダウンロードされたことも明らかにしたことで下落。スノーフレックも売り優勢となった。銀行のウェルズ・ファーゴは、四半期決算で純金利収入が市場予想を下回り減益となったことが嫌気されて下落。同業のシティ・グループは、四半期決算で費用の大きさが警戒され売られた。航空機メーカーのボーイングは、顧客にマックス737機の納入がさらに遅れる可能性を通知したとの報道が嫌気されて下落。オンライン小売のアマゾン、ベゾス前最高経営責任者（CEO）による保有株売却が明らかになったことから売り優勢となった。携帯端末のアップルは、モバイルウォレット技術を巡る反競争法調査で、制裁金支払いを回避するため決済技術を競合にも開放することでEUと和解したとの報道で売られた。

■今週の見通し

今週の米国株は、循環物色の地合いが強まり NY ダウ、ナスダック、S&P500 の主要3指数の上値は重くなりそうだ。ここまでの米国株のけん引役だったエヌビディアの上値が重くなりつつある一方、中小型株の伸びが加速している。中小型株で構成するラッセル2000は、12日に前日比1.1%高で年初来高値を更新した。ナスダックが前日比1.95%下落した11日には、ラッセル2000は前日比3.57%高と際立った上昇率を示した。金利低下は財務面が比較的弱い中小型株にとって資金調達ハードルが低下し、メリットが大きいとの見方が強まったようだ。このラッセル2000の強い動きが12日の東京市場でのグロース株の刺激材料となった。引き続き中小型株物色が強まれば、過熱感などが指摘されていた大型ハイテク銘柄の受け皿ともなる。循環物色によって、主要3指数の上値は重くなる可能性はあるが、中小型株物色が活発となれば、投資家のマインドは最低限維持できると考える。

一方、先週から銀行株の決算が発表されるなど決算発表が徐々に本格化を迎えることで個別物色も強まろう。先陣を切ったJPモルガン・チェースやウェルズ・ファーゴ、シティ・グループなど大手銀行株はさえない決算内容だったことで売りに押された。今週は、ゴールドマン・アメリカン・エクスプレス、ジョンソン・アンド・ジョンソン、トラベラーズ、ユナイテッドヘルスと5社のNYダウ構成銘柄の決算が発表される。NYダウは個別要因で上下に振られる可能性はあるので方向性は読みにくいだろう。

経済指標では、15日に7月NY連銀製造業景気指数、16日に6月小売売上高、輸出物価指数、17日に6月住宅着工件数、鉱工業生産指数、週次原油在庫、18日に週次新規失業保険申請件数、7月フィラデルフィア連銀景況指数などが予定されている。

主要企業決算は、15日にブラックロック、ゴールドマン・サックス、16日にユナイテッドヘルス・グループ、バンク・オブ・アメリカ、ステート・ストリート、モルガン・スタンレー、チャールズ・シュワブ、17日にジョンソン・エンド・ジョンソン、アルコア、18日にノバルティス、ネットフリックス、19日にアメリカン・エクスプレス、オートネーション、ハリバートン、トラベラーズ・カンパニーズなどが予定されている。

為替市場

| | |
|-------------|---------------------|
| 米ドル・円 予想レンジ | 156.00 円 ~ 160.00 円 |
|-------------|---------------------|

今週のドル・円は下げ渋りか。米インフレ指標の鈍化が示され、9月利下げの可能性が高まっていることから、ドルに下押し圧力がかかりやすい。ただ、日本の為替介入が警戒されても、一定の日米金利差は存在していくことから、中長期的な円安トレンドは続く可能性がある。パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長は7月9-10日の議会証言で、引き締め的な現行の金融政策を維持する考えを改めて示した。

その後発表された米6月消費者物価指数（CPI）は市場予想を下回り、長期にわたるインフレは沈静化。市場は9月以降に年内2回の利下げを織り込み始め、目先は米金利安・ドル安に振れやすい展開となりそう。一方、米CPI発表後にドル安円高が進行し、日本銀行による7月利上げ観測は後退。目先の円買い圧力は弱まる可能性がある。また、米インフレ指標は鈍化を示しているものの、バイデン米大統領の進退問題がトランプ前大統領再登板の思惑につながり、インフレ再燃が懸念されていることからドルは下げづらい。日米の株高を受けてユーロ、豪ドル、英ポンドなどに対するリスク選好的な円売りが再び増える可能性があることもドル・円相場を支える一因となりそう。

【米・6月小売売上高】（16日発表予定）

7月16日発表の6月米小売売上高は前回の前月比+0.1%から改善するか注目される。個人消費の強さが顕著になれば引き締め継続の思惑からドル買いに振れやすい。

【日・6月消費者物価指数（CPI）コア指数】（19日発表予定）

19日発表の6月消費者物価指数（CPI）コア指数は、前回の前年比+2.5%から伸びが加速すれば日本銀行の追加利上げ期待につながり、円買い材料となりそう。

債券市場

| | |
|--------------|---------------------|
| 債券先物予想レンジ | 142.90 円 ~ 143.50 円 |
| 長期国債利回り予想レンジ | 1.040 % ~ 1.080 % |

■先週の動き

先週（7月8日-12日）の債券市場では長期債利回りは弱含み。米インフレ鈍化によって年内2回の利下げがあるとの観測が強まったことを受け、米長期金利が低下したことが要因。週後半に為替相場が円高方向に振れたこと、日本銀行の早期政策修正観測がやや後退していることも債券利回りの上昇を抑える要因となった。20年国債入札が好調だったことも長期債利回りの低下を促したとみられる。

10年債利回りは1.083%近辺で取引を開始し、一時1.098%近辺まで上昇したが、為替相場の円高反転などを受けて12日の取引で1.051%近辺まで低下し、1.065%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物9月限は強含み。143円00銭で取引を開始し、一時142円61銭まで下落したが、為替相場の円高反転を受けて12日の取引で143円21銭まで反発し、143円21銭でこの週の取引を終えた。

■今週の見通し

今週（7月16日-19日）の債券市場では長期金利は弱含みとなる可能性がある。米消費者物価指数（CPI）の鈍化を受けて年内の利下げ期待が高まっている上、為替市場で円安が一服し、日本銀行が今月末の金融政策決定会合で追加利上げを迫られるとの観測が後退しているため。米長期金利が4カ月ぶりの水準まで低下してきたことは円債相場への支援材料となる。日本の通貨当局は円安進行について一定の歯止めをかける姿勢を維持しており、円安進行によって日銀が追い込まれて利上げに踏み切るリスクは低下した。超長期債の需給関係は悪化していないことも長期債利回りの上昇を抑える一因となりそう。

債券先物9月限は下げ渋りか。利上げ観測を背景とした中期国債利回りの上昇が一服しているほか、米国で9月の利下げ期待が高まっており、長期、超長期国債も安定した値動きが見込めるため、債券先物は主に143円台前半で推移し、下げ渋る状態が続く可能性がある。

国内外半導体銘柄の決算発表に注目、中小型グロース株の見直しは継続か

先週の日経平均は続伸。雇用統計やFRB議長の前会証言などを受け米国の早期利下げ期待が高まった。週央にかけて半導体株が上昇の牽引役に。また、先週はETF分配金捻出のための売り圧力が警戒されたが、一巡後の需給改善も意識され、買い戻しが強まる場面もあった。ただ、先週末は2021年2月以来となる1000円超の急落。為替介入観測に伴う円高への急反転、米半導体株の大幅下落で利益確定売り圧力が強まった。同日は物色も二分、銀行や保険などの金融株、半導体株が大幅安となる一方、中小型グロース株が一斉高の展開となっている。

主力企業の決算では、安川電機はコンセンサス下振れ決算嫌気で下値模索。セブンアイも大幅減益決算受け週末に急落。ファストリは想定以上の好決算だったが、日経平均の急落に押されることとなった。その他決算や業績修正では、三井松島、ウェザーニューズ、ディップ、カーブス、わらべや、トレファク、Sansan、ペイカレント、タマホームなどが買われ、半面、ウエルシア、U-NEXT、クリエイトSDH、C&R、SHIFT、吉野家、ベル24、ローツェなどは決算後に売り優勢。ほか、ジーンズHD、FPパートナー、MonotaROは月次動向が買い材料視される。リクルートは自社株買い発表で需給改善期待。ガンホーは新タイトルの年内開始発表で上昇。米コーニングの上方修正が刺激となってフジクラなど買われる場面も。一方、KOKUSAIはKKRの保有株一部売却報道、SBIHDはCB発行、地主は公募増資発表がそれぞれ嫌気される。サイゼリヤは株主優待廃止をネガティブ視。

先週末の米国市場は上昇、半導体関連株も反発となっている。ミシガン大が発表した期待インフレ率の低下などで、早期利下げ期待があらためて高まる展開になっている。先週末急落した半導体関連株などには押し目買いが期待できる情勢に。また、先週末買われた中小型グロース株などには上値追いつけの流りが想定される。一方、再度の為替介入観測もあって、為替市場ではドル安円高の動きになっている。日本株固有の重しとはなっており。自動車や百貨店などインバウンド関連銘柄には買い手控えムードが強まりそうだ。

半導体関連株に関して、買い戻し一巡後の動向を左右するのは主力銘柄の決算発表となる。17日にはASML、18日にはTSMCが決算発表を予定し、国内でも18日にディスコが決算発表を予定している。良好な決算は想定されるが、株価の一段の押し上げ材料につながるものになるか注視される。海外では他にも、ゴールドマン、バンカメ、モルガン、J&J、ユナイテッドエア、ノキア、ネットフリックスなどの決算発表が予定されている。また、週初には中国で3中全会が開催されるほか、4-6月期GDPなども発表予定。中国関連株の見直しにつながっていくか注目したい。国内では来週から4-6月期の決算発表が本格的にスタートする。今期の良好なガイダンスを発表した銘柄などは先回り買いのタイミングとなっており。とりわけ、為替の影響が乏しい内需系銘柄などに安心感も強まりやすいだろう。新興市場への資金シフトが強まる可能性なども高いとみられる。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

| 上昇率上位銘柄 | | | | 下落率上位銘柄 | | | 業種別騰落率 | | |
|---------|------------------|---------|--------|---------|-------------------|----------|--------|---------|--------|
| コード | 銘柄 | 終値(円) | 騰落率(%) | コード | 銘柄 | 終値(円) | 騰落率(%) | 上位セクター | 騰落率(%) |
| 7388 | FPパートナー | 3,240.0 | 21.62 | 3252 | 地主 | 2,310.0 | -17.56 | 医薬品 | 3.38 |
| 4825 | ウェザーニューズ | 5,720.0 | 21.19 | 4763 | クリーク・アンド・リバー社 | 1,537.0 | -15.32 | 金属製品 | 3.21 |
| 4443 | Sansan | 2,130.0 | 19.80 | 9974 | ベルク | 6,370.0 | -15.29 | 精密機器 | 3.19 |
| 6571 | キュービーネットホールディングス | 1,405.0 | 19.27 | 3697 | SHIFT | 13,220.0 | -13.17 | 食料品 | 2.94 |
| 4480 | メドレー | 4,170.0 | 18.30 | 9107 | 川崎汽船 | 2,410.5 | -10.74 | サービス業 | 2.93 |
| 6532 | ペイカレント・コンサルティング | 4,323.0 | 18.05 | 9070 | トナミホールディングス | 5,900.0 | -9.65 | 繊維業 | 2.39 |
| 4483 | JMDC | 3,661.0 | 16.33 | 7011 | 三菱重工業 | 1,843.5 | -9.45 | 建設業 | 2.18 |
| 2533 | オエノンホールディングス | 428.0 | 15.05 | 3382 | セブン&アイ・ホールディングス | 1,814.0 | -9.00 | 下位セクター | 騰落率(%) |
| 6387 | サムコ | 4,800.0 | 14.97 | 2737 | トーマンデバイス | 7,440.0 | -8.03 | 海運業 | -6.29 |
| 1518 | 三井松島ホールディングス | 5,640.0 | 14.75 | 3148 | クリエイトSDホールディングス | 3,320.0 | -7.52 | 銀行業 | -2.62 |
| 1949 | 住友電設 | 4,150.0 | 14.33 | 9418 | U-NEXT HOLDINGS | 4,260.0 | -7.39 | 石油・石炭製品 | -2.47 |
| 1419 | タマホーム | 4,460.0 | 14.21 | 6674 | ジーエス・ユアサ コーポレーション | 2,925.0 | -7.26 | 保険業 | -2.01 |
| 2379 | ディップ | 3,150.0 | 14.17 | 9861 | 吉野家ホールディングス | 2,883.5 | -6.71 | 機械 | -1.82 |
| 3093 | トレジャー・ファクトリー | 2,094.0 | 14.05 | 7012 | 川崎重工業 | 5,723.0 | -6.53 | 卸売業 | -1.53 |
| 8114 | デサント | 3,905.0 | 13.85 | 2585 | ライフリンク カンパニー | 6,310.0 | -6.38 | 輸送用機器 | -1.02 |

もみ合い、「宵の明星」出現で上値追い終了か

■0.5σ 相当の 600 円程度であれば上下どちらにも動く可能性

先週（7月8-12日）の日経平均株価は3週連続で上昇した。1週間の上げ幅は278.31円（前週1329.29円）だった。

東証と大阪取引所の投資部門別売買状況では、現物・先物合算で海外投資家は7月1週（7月1日-5日）、買い越しを継続し（8630億円、前週は3850億円）、現物も買い越しを継続した（1924億円、前週は1141億円）。

先週の日経平均は上値追いを続け、11日には史上初の42000円台で終了した。12日には1033.34円安と急落して5日移動平均線を下回り、スピード調整色が急速に強まった。

今週は上値追いからもみ合い局面への移行が予想される。日足ローソク足は先週末、2日連続でマドを空けて反落し、7月11日の株価が高値で取り残されて「宵の明星」を形成した。週足は5本連続陽線を描いたが、1236.09円と極端に長い上ヒゲが上値での強い売り圧力を窺わせていることもあり、天井圏到達後の調整局面入りが警戒される。

ボリンジャーバンドでは、先週末に+2σを下抜け、日足ローソク足の宵の明星とともに上値追い終了を示唆した。+1σの値幅は1185.85円（先々週末757.96円）に拡大したため、0.5σ

相当の600円程度であれば上下どちらにも動く可能性がある点に留意したい。

25日線との上方乖離率は11日に6.55%と買われ過ぎの目安となる5%を3日連続で超えたが、12日は3.68%に縮小し、過熱感を一気に解消する形となった。東証プライム市場の騰落レシオ（25日ベース）は12日大引けで119.32%と過熱ラインの120%をわずかに下回っていることから、先週までの上値追いによる反動安圧力は限定的とみられる。

先週末終値が25日線を上回る銘柄は日経平均採用225銘柄のうち176銘柄（先々週末7月5日は165銘柄）、東証プライム全上場銘柄では73%（同67%）といずれも増加。相場全体で短中期投資家の含み益が厚みを増したとみられ、強い買い余力が相場を下支えしよう。

上値では、節目の42000円や11日高値42426.77円が抵抗線として意識される。下値では、節目の41000円から一目均衡表の転換線40942.19円が支持帯として作用しそうだ。この水準より下では、節目の40000円に接近するにつれて押し目買いが厚みを増す展開が予想される。

一目均衡表（日経平均）



花王〈4452〉プライム

24年12月期は6期ぶりの最終増益を目指す

■リブランディングによりヘアケアのシェアが向上

4月よりヘアケア用品の主力ブランド「エッセンシャル」において、新たな広告モデルに韓国の5人組ガールズグループNewJeansを起用したほか、新ブランド「melt」を発売するなどリブランディングを開始しており、ヘアケアのシェアが向上している。また、足もとでは、高付加価値製品の疎水化セルロースナノファイバーなどのケミカル分野とファブリック&ホームケアにおいて、コアブランドの競争優位性が向上しており、安定収益領域で稼いでいる。構造改革効果は、計画をやや上回る形で推移しており、24年12月期は6期ぶりの最終増益を目指す。

■調整一巡からのリバウンドを意識したスタンス

株価は5月13日に付けた7064円をピークに高値圏での推移が続いていたが、6月半ばにマドを空けての下落で25日線を割り込み、7月2日には6414円まで下落した。ただし、足もとでは

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 7/12 終値 | 6752 円 |
| 目標株価 | 7700 円 |
| 業種 | 化学 |

上向きで推移する75日線を支持線としたリバウンドをみせており、上値抵抗の25日線を突破してきた。週足では13週線を上回ってきており、調整一巡からのリバウンドを意識したスタンスに向かわせよう。目標株価は5月高値から7月安値までの下落幅をリプレースした水準である7700円とする。

★リスク要因

原材料価格の高騰。

4452:日足

75日線を支持線としたリバウンドから25日線を突破。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|------------|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 2020/12連I | 1,381,997 | -8.0% | 175,563 | 173,971 | -17.4% | 126,142 | 262.29 |
| 2021/12連I | 1,418,768 | 2.7% | 143,510 | 150,002 | -13.8% | 109,636 | 230.59 |
| 2022/12連I | 1,551,059 | 9.3% | 110,071 | 115,848 | -22.8% | 86,038 | 183.28 |
| 2023/12連I | 1,532,579 | -1.2% | 60,035 | 63,842 | -44.9% | 43,870 | 94.37 |
| 2024/12連I予 | 1,580,000 | 3.1% | 130,000 | 131,000 | 105.2% | 98,000 | 210.81 |

大塚ホールディングス〈4578〉プライム

肥満症治療薬の開発が医薬品各社で活発化

■肥満症/経口剤「NO-13065」は1b試験を開始する予定

米製薬大手ファイザーは7月11日、肥満症治療薬候補「ダズグリプロン」について、効果が期待できるとして開発を進めると発表した。肥満に起因した病気の症状を抱える人に向けた治療医学としての新薬の開発が医薬品各社で活発化しており、同社においても、肥満症/経口剤「NO-13065」は現在、詳細な作用機序を解明中で、今後グローバルフェーズ1b試験を開始する予定である。会社側では食欲に関与せず、エネルギー消費に関わる作用機序であり、安全性が高い化合物だとの考えを示している。これから臨床試験を進めるにあたり、作用機序が解明できれば期待される薬剤になるとみられる。

■強い基調継続で最高値更新

株価は75日線水準を支持線としたリバウンドから上昇基調が強まっており、7月11日には7228円まで買われ、最高値を更新

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 7/12 終値 | 7132 円 |
| 目標株価 | 8500 円 |
| 業種 | 医薬品 |

している。足もとでの急ピッチの上昇から過熱感が警戒されやすいが、現在の基調により需給状況は良好である。目標株価は17年1月高値5895円から20年3月安値の3224円までの下落幅をリプレースした水準となる8500円とする。

★リスク要因

医薬品開発の遅れ。

4578: 日足

75日線水準を支持線としたリバウンド。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|------------|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 2020/12連I | 1,422,826 | 1.9% | 198,582 | 189,988 | 9.5% | 148,137 | 273.15 |
| 2021/12連I | 1,498,276 | 5.3% | 154,497 | 163,638 | -13.9% | 125,463 | 231.32 |
| 2022/12連I | 1,737,998 | 16.0% | 150,323 | 172,954 | 5.7% | 133,906 | 246.80 |
| 2023/12連I | 2,018,568 | 16.1% | 139,612 | 142,655 | -17.5% | 121,616 | 224.10 |
| 2024/12連I予 | 2,140,000 | 6.0% | 330,000 | 330,000 | 131.3% | 250,000 | 460.67 |

ANYCOLOR <5032> プライム

売上高・営業利益ともに CAGR20%以上の成長目指す

■VTuberグループ「にじさんじ」の運営

VTuber のキャラクターIP 開発およびVTuber グループ「にじさんじ」の運営を行う。24年4月期は、ライブストリーミングが売上高全体の16%、コマースが59%、プロモーションが18%、イベントが6%となっている。同社が運営する「にじさんじ」には、24年4月期末時点で158名の多種多様なVTuber が所属し、VTuber1人当たりの月間売上高は2.03億円となっている。20~29歳の若年層・Z世代を中心に女性ファンの割合が68%、特にグッズ購入を中心に女性ファン層が多い点の特徴となる。また、売上に対するトップ層の収益貢献が大きくなり、幅広いVTuberに収益が分散した安定的な体制となっている。

■中期経営計画を開示

ANYCOLOR ID数は126万ID数へ拡大し、24年4月期は売上高が前期比26.3%増、営業利益は同31.4%増で着地。25年4月期は、売上高が前期比21.9%増の390億円、営業利益は同19.7%増の148億円を見込む。VTuber 毎収益の向上と新規デビューを通じて継続的な事業成長を見込む。中計では27年4月期

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 7/12 終値 | 2576 円 |
| 目標株価 | 3000 円 |
| 業種 | 情報・通信業 |

にかけて売上高で CAGR(年平均成長率)23%、営業利益で CAGR25%の増収増益を目指す。市場環境の拡大が続くなか、順調なファンの積み上がりで IP の成長で、持続的に業績の2桁成長が続いていくことを想定し、まずは3000円を目標株価とした。

★リスク要因

IPカンパニー企業にファン層が奪われるなど。

5032:日足

2500円付近で地固め後、反発なるか。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2021/4単 | 7,636 | 119.6% | 1,452 | 1,451 | 999.9% | 937 | 464.55 |
| 2022/4単 | 14,164 | 85.5% | 4,191 | 4,149 | 185.9% | 2,793 | 93.28 |
| 2023/4単 | 25,341 | 78.9% | 9,410 | 9,448 | 127.7% | 6,698 | 221.57 |
| 2024/4単 | 31,995 | 26.3% | 12,361 | 12,341 | 30.6% | 8,725 | 139.63 |
| 2025/4単予 | 39,000 | 21.9% | 14,800 | 14,800 | 19.9% | 10,360 | 165.88 |

pluszero <5132> グロース

現時点で開発競争の存在しない「第4世代AI」開発に尽力

■第4世代AIカンパニー

「AEI」(Artificial Elastic Intelligence、柔軟なAI)という独自のブランド名を冠した第4世代AIを扱う。AEIは特定の領域に特化して、労働力とみなせるレベルのAI実現を目指しているもの。24年10月期上期(23年11月-24年4月)は、売上高が前年同期比41.3%増の5.81億円となっているが、そのうちAEI関連は同137%増の0.65億円と小規模ながら順調に伸長。通期計画に対する進捗率は売上高が49%、営業利益が68%。同社は四半期ごとに右肩上がりとなる傾向があるといい、営業利益については第3四半期で目標を突破する勢いで順調に推移している。

■今期よりAEI活用サービス展開が本格化

6月に入りFIG<4392>との業務提携や、伊藤忠プラントックと北陸電気保安協会が実施する電気保安分野におけるAI活用プロジェクト参画を立て続けに発表しており、株価も6月21日につけ

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 7/12 終値 | 2272 円 |
| 目標株価 | 2545 円 |
| 業種 | 情報・通信業 |

た2009円を底値に下値を切り上げてきている。今期よりAEIを活用したサービス展開が本格化する予定であり、業績拡大に寄与してくる期待は高い。まずは75日線を突破し6月高値2545円奪回を目標としたい。

★リスク要因

長期金利の上昇など。

5132:日足

先週は25日線明確に上回り反騰機運高まるも、75日線に跳ね返される。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|-----------|-------|-------|------|------|-------|------|--------|
| 2020/10単 | 381 | - | -26 | -26 | - | -27 | - |
| 2021/10単 | 507 | 33.1% | -80 | -78 | - | -79 | - |
| 2022/10単 | 726 | 43.2% | 127 | 116 | - | 120 | 57.19 |
| 2023/10単 | 894 | 23.1% | 162 | 162 | 39.7% | 120 | 48.32 |
| 2024/10単予 | 1,180 | 32.0% | 208 | 208 | 28.0% | 140 | 18.53 |

ブルーイノベーション〈5597〉グロース

複数のドローンやロボットの制御システム提供、

■災害支援活動でも活躍

23年12月上場。複数のドローンやロボットの制御管理を行う独自プラットフォーム「Blue Earth Platform (BEP)」をベースに様々なソリューション開発を行っている。今年1月に発生した能登半島地震においては震災5日後に現地入りし、土砂崩れによる孤立地域の情報収集など被災直後の状況確認や、河川上流の土砂ダム決壊リスク定期監視、仮設住宅設置予定地の被災状況確認など災害支援活動で同社のシステムが活躍している。自社ドローン製造がなく、ソフトウェアを中心としたソリューション提供のビジネスモデルのため、収益性が高い。23年12月期の売上総利益率は44.8%。

■今期は増収・赤字幅縮小を見込む

6月7日にドローンの離着陸設備の管制システムを本格販売と日経新聞で報道され、翌営業日の10日は一時1199円まで上昇

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 7/12 終値 | 1023 円 |
| 目標株価 | 1200 円 |
| 業種 | 情報・通信業 |

した。その後は25日線をサポートとした株価推移となっている。24年12月期は売上高17.95億円(前期比42.0%増)、営業損失0.48億円(前期は2.89億円)と増収・赤字幅縮小を見込む。点検ソリューションの取引増加が業績成長をけん引している。株価はまず75日線突破を目指し6月高値奪回の1200円を目標とする。

★リスク要因

ドローン調達会社との関係悪化など。

5597:日足

先週末に突破した25日線から上放れることができるか。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|-----------|-------|--------|------|------|-----|------|--------|
| 2020/12単 | 493 | -22.5% | - | -284 | - | -286 | - |
| 2021/12単 | 725 | 47.1% | -391 | -393 | - | -394 | - |
| 2022/12単 | 908 | 25.2% | -349 | -341 | - | -345 | - |
| 2023/12単 | 1,264 | 39.2% | -289 | -295 | - | -299 | - |
| 2024/12単予 | 1,795 | 42.0% | -48 | -49 | - | -52 | - |

TOWA <6315> プライム

半導体製造装置が主力、新装置開発や工場取得など次の成長に布石

■前期は減収減益だが第4四半期業績は過去最高

半導体製造の後工程で使われる装置を担い、半導体のチップ、ワイヤーを樹脂で封止する「モールドイング装置」や「金型」、個片化のための「シンギュレーション装置」が主力製品となっている。24年3月期は半導体製造装置事業が売上高全体の91%を占める。半導体製造装置以外では、レーザ加工装置や医療用ファインプラスチック成形品なども手掛ける。24年3月期は売上高504.71億円(前期比6.2%減)、営業利益86.61億円(同13.7%減)で着地。民生品向けが低調で通期では減収減益だったが、生成AI関連向けの伸びなどで、第4四半期(24年1-3月)の売上高、各段階利益は四半期ベースで過去最高となった。

■生成AI 半導体向け事業が収益牽引

25年3月期は売上高600億円(前期比18.9%増)、営業利益126億円(同45.5%増)を計画。引き続き生成AIの拡大などを見

| | |
|---------|---------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 7/12 終値 | 10550 円 |
| 目標株価 | 14560 円 |
| 業種 | 機械 |

込んでいる。同社は昨年9月に生成AI向け半導体の生産に最適な装置の開発を完了。また、この4月には韓国で工場を取得するなど、次の成長に向け着実に布石を打っている。株価は上値がやや重い、今期好業績見通しに鑑み、今年5月につけた上場来高値14560円奪回を目標としたい。

★リスク要因

中国の景気動向など。

6315: 日足

上値はやや重い下値の堅い展開。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|----------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 2021/3連 | 29,706 | 17.6% | 3,618 | 3,818 | 490.1% | 2,663 | 106.49 |
| 2022/3連 | 50,666 | 70.6% | 11,505 | 11,724 | 207.1% | 8,129 | 325.08 |
| 2023/3連 | 53,822 | 6.2% | 10,037 | 10,206 | -12.9% | 7,346 | 293.69 |
| 2024/3連 | 50,471 | -6.2% | 8,661 | 9,079 | -11.0% | 6,444 | 257.70 |
| 2025/3連予 | 60,000 | 18.9% | 12,600 | 12,600 | 38.8% | 8,830 | 353.22 |

タダノ〈6395〉プライム

建設用クレーンが主力、第1四半期営業利益は前年同期比59.5%増

■建設用クレーンの世界シェア15%・国内シェア62%

都市開発やエネルギー生産現場、インフラ整備などで使われる建設用クレーンが主力で、23年12月期は売上高全体の71%を占める。世界シェアは15%、国内では62%。このほか、車両搭載型クレーンや高所作業車なども手掛ける。仕向地別売上高は日本が36%、北米32%、欧州11%、中東8%、オセアニア5%などとなっている。24年12月期第1四半期(24年1-3月)は、売上高624.60億円(前年同期比3.7%減)、営業利益56.25億円(同59.5%増)で着地。4月からの労働時間上限規制を前にした買い控えなどが影響し売上高は減少したが、販売価格の改善や為替の影響等もあり利益面は伸長した。

■インフラ投資や災害対策での需要増見込む

24年12月期は売上高3150億円(前期比12.4%増)、営業利益200億円(同9.0%増)を見込む。国内ではインフラ投資や災害対

| | |
|---------|----------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 7/12 終値 | 1179.5 円 |
| 目標株価 | 1367 円 |
| 業種 | 機械 |

策などの大型工事を中心に需要が堅調に推移すると想定。海外では資源・インフラ・クリーンエネルギー関連での需要増を見込んでいる。年間配当は前期比4円増配の23円を計画している。株価は6月以降、下値の堅い展開となっている。年初来高値1367円を目標株価としたい。

★リスク要因

金利上昇による不動産・建設市場の変調など。

6395:日足

75日や200日移動平均線突破が第一目標。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|-----------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| 2021/3連 | 186,040 | -18.4% | -4,196 | -4,683 | - | -12,987 | - |
| 2022/3連 | 205,661 | 10.5% | 5,251 | 5,454 | - | 13,096 | 103.33 |
| 2022/12連 | 192,932 | -6.2% | 7,191 | 6,540 | 19.9% | 2,210 | 17.43 |
| 2023/12連 | 280,266 | 45.3% | 18,349 | 16,367 | 150.3% | 7,773 | 61.26 |
| 2024/12連予 | 315,000 | 12.4% | 20,000 | 17,000 | 3.9% | 9,500 | 74.85 |

オリンパス〈7733〉プライム

内視鏡と治療機器が事業の両輪、今期営業利益はV字回復へ

■内視鏡事業が売上高の63%

同社は、カメラや光学機器のイメージがあるが、内視鏡事業／治療機器事業／その他事業の3セグメントで事業を展開している。消化器や外科向け内視鏡、ビデオイメージングシステムなどを手掛ける内視鏡事業は24年3月期売上高全体の63%を占めている。クリップや高周波ナイフなどの内視鏡用処置具や、呼吸器科・泌尿器科・耳鼻咽喉科用のデバイスなどを提供する治療機器事業は36%。また、地域別売上高は北米が38%、欧州26%、日本13%、中国11%などとなっている。

■今期営業利益は前期比4.0倍予想

24年3月期は、売上高9362.10億円(前期比6.2%増)、営業利益435.98億円(同76.6%減)で着地。3セグメントすべて増収となったが、電磁ナビゲーションシステム等の製造・販売終了に関する損失や品質変革プログラムに係る費用など一時的な費用が重

| | |
|---------|----------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 7/12 終値 | 2650.0 円 |
| 目標株価 | 3198 円 |
| 業種 | 精密機器 |

なり、営業利益は減益となった。25年3月期通期計画は、売上高1兆210億円(前期比9.1%増)、営業利益1770億円(同4.1倍)。米国や中国での新製品販売の寄与や、前期の一時費用の影響が減少することから、利益V字回復を見込む。株価は利益急回復を映し堅調だ。22年9月の高値3198円を目標株価としたい。

★リスク要因

円相場の急激な変動など。

7733:日足

5月10日の決算発表以降は水準訂正の動きに。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|-----------|-----------|-------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 2021/3連I | 730,544 | -3.3% | 81,985 | 76,810 | -11.3% | 12,918 | 10.05 |
| 2022/3連I | 750,123 | 2.7% | 146,188 | 141,701 | 84.5% | 115,742 | 90.22 |
| 2023/3連I | 881,923 | 17.6% | 186,609 | 182,294 | 28.6% | 143,432 | 113.22 |
| 2024/3連I | 936,210 | 6.2% | 43,598 | 35,854 | -80.3% | 242,566 | 199.91 |
| 2025/3連I予 | 1,021,000 | 9.1% | 177,000 | 171,000 | 376.9% | 121,000 | 106.10 |

安川電機 プライム<6506>/第1四半期コンセンサス下振れで売り先行

5日に発表した第1四半期の決算を受けて、先週は下値を切り下げる軟調な動きが続いた。3-5月期営業利益は111億円で前年同期比32.4%減となり、市場予想を40億円程度下振れる形になった。中国のACサーボ売上などが想定より低調となったもよう。通期計画700億円、前期比5.7%増に対する進捗率は16%にとどまり、下振れ懸念などが先行する状況のようだ。

一方、受注高は前四半期比23%増と明確な回復となってきている。中国以外のACサーボ受注が半導体向けに回復に転じており、インバータやロボットなども堅調に推移する状況に。5月以降株価は全体相場を大きくアンダーパフォームしており、業績の下振れ懸念は十分に織り込んだといえよう。今後は業績底打ち確認とともに株価の見直しも進みそうだ。今週は中国のGDPや三中全会開催なども注目材料になってこよう。



Sansan プライム<4443>/好決算発表や中小型グロース株上昇で週末ストップ高に

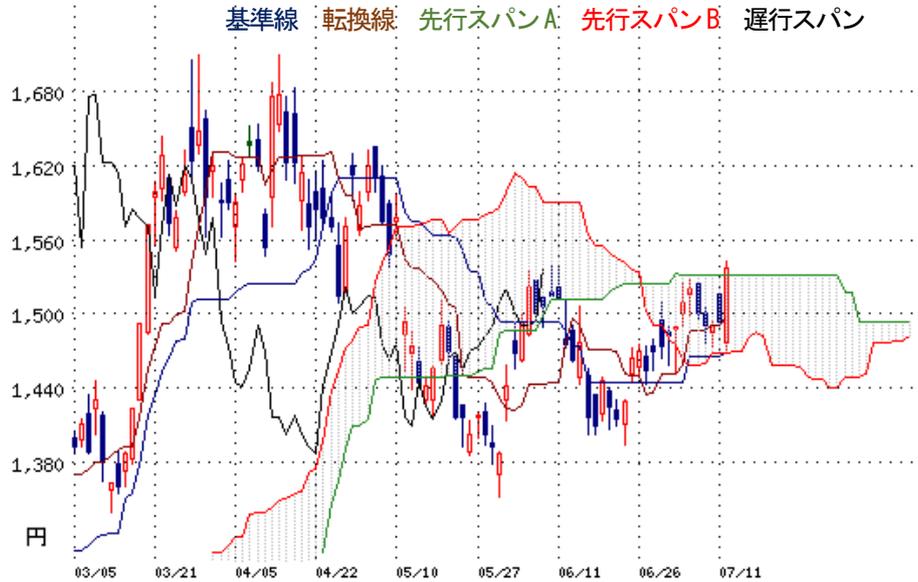
先週末はストップ高比例配分。11日に24年5月期の決算を発表、調整後営業利益は17.1億円で前期比81.5%増となり、従来予想12.4-18.5億円のレンジ上限に近い水準で着地している。一方、25年5月期は30.1-44.0億円のレンジ予想で、前期比では76.2-157.6%の大幅増益見通しとしている。これまでは先行投資によって利益水準が抑制されてきたが、今回のガイダンスも含めて利益の拡大志向が鮮明になる形と捉えられる。

CPIを受けて米長期債利回りが低下、先週末は中小型グロース株が一斉高となったことも買い意欲を一段と強めさせる形になった。米国の9月利下げ期待が高まる状況下、今後も中小型グロース株の見直しは進むとみられる。なかでも、今回決算インパクトの強かった同社などは、関連株のリード役的な存在になっていく可能性が高いとみられる。



三井不動産 プライム<8801>

日足ベースの一目均衡表。先週末は6月10日高値を上回り、ボックス上限突破に成功。大陽線のローソク足が買い気の強さを窺わせるとともに、終値の雲上限越えと遅行線の強気シグナル発生で三役好転の強気形状が完成した。上向きの転換線と基準線が短期的な上値追い継続を示唆。基準線は上昇2回目のため上げ相場はまだ若いとみられ、3月29日に付けた株式分割反映後の上場来高値1709.5円に向けた強気相場が期待できよう。



野村総合研究所 プライム<4307>

週足ベースのローソク足。先週まで高値、安値、終値が5週連続陽線を描きながらそろって上昇。「赤三兵」が3週続けて示現し、上値追いの勢いの強さを窺わせた。株価下方を走る13週移動平均線が上昇角度を増すとともに、右肩上がりの26週線を上抜いてゴールデンクロスを示現しており、中長期ベースの上昇局面入りか予想される。7月9日に年初来高値を更新した直後であり、青天井の上昇が期待できよう。



テーマ別分析:KADOKAWA サイバー被害で関心高まるサイバーセキュリティ関連

■サイバーセキュリティ対策が急務に

KADOKAWA<9468>は今年6月にコンピューターウイルス「ランサムウェア」を使ったサイバー攻撃を受けたと公表しているが、従業員の個人情報や社内文書漏えいにとどまらず、出版物流にも影響が出ているなど深刻な状況となっている。そのほかにも、昨年10月には宇宙航空研究開発機構（JAXA）、今年3月にはHOYA<7741>などもサイバー攻撃を受けたことが報じられている。国際的なイベントが開催されるのに合わせてサイバー攻撃は増加する傾向があり、パリ五輪開催を控え、企業の間では緊張感も広がっている。

7月には内閣サイバーセキュリティセンターと警察庁がサイバー攻撃に関する8カ国の国際文書に共同署名するなど、政府の動きも慌ただしい。株式市場では数多くのサイバーセキュリティ関連銘柄が上場しており、分野も製品・ソリューションの開発、構築から脆弱性調査、監視、コンサルなどに多岐にわたる。クラウド、DX、IoTなどとの親和性も高いことが特徴だろう。7月12日には関連銘柄のボードルア<4413>が好決算で急騰し、関連銘柄には関心が向きやすい地合いが形成されているとみられる。

■主な「サイバーセキュリティ」関連銘柄

| コード | 銘柄略称 | 市場 | 7/12 株価 (円) | 概要 |
|------|------------|--------|-------------------|-----------------------------------|
| 153A | カウリス | グロース | 2026 | 法人向けクラウド不正アクセス検知事業を展開。2024年3月に上場。 |
| 2326 | デジタルアーツ | プライム | 4995 | WEBやメールなど情報漏洩対策ソリューションを展開。 |
| 3040 | ソリトンシステムズ | プライム | 1286 | サイバーセキュリティ・リスクを調査する事業を手掛ける。 |
| 3132 | マクニカHD | プライム | 6642 | サイバーセキュリティ対策手掛けるS&J<5599>の筆頭株主。 |
| 3692 | FFRIセキュリティ | グロース | 2226 | サイバーセキュリティ関連で政府・官公庁系受注に高い実績あり。 |
| 3762 | テクマトリックス | プライム | 2081 | サイバー攻撃をクラウド上でリアルタイムに検知・対処。 |
| 3788 | GMO-GS | プライム | 3040 | ウェブサイトとIoTデバイスのセキュリティサービスを展開。 |
| 3857 | ラック | スタンダード | 875 | 内閣サイバーセキュリティセンターと連携・協力関係に。 |
| 3916 | DIT | プライム | 1938 | サイバー攻撃に備えるセキュリティシステムを構築。 |
| 3962 | チェンジHD | プライム | 1271 | ネットセキュリティのイー・ガーディアンをグループ化。 |
| 4258 | 網屋 | グロース | 2700 | データとセキュリティのセキュリティ事業展開、最高値更新中。 |
| 4307 | 野村総合研究所 | プライム | 4678 | 国内最大級のセキュリティ専門企業をグループに所有。 |
| 4413 | ボードルア | グロース | 4125 | ITセキュリティ事業を構築から運用までワンストップで展開。 |
| 4417 | Gセキュリ | グロース | 5770 | サイバーセキュリティコンサル展開。丸紅系企業と資本業務提携。 |
| 4475 | HENNGE | グロース | 1018 | クラウド利用時のセキュリティ対策サービスが主力。 |
| 4493 | サイバーセキ | グロース | 2357 | 人工知能を活用したサイバーセキュリティ開発を展開。 |
| 4662 | フォーカスシステムズ | プライム | 1235 | 官公庁からの受託開発が多くセキュリティにも強い。 |
| 4704 | トレンドマイクロ | プライム | 6942 | サイバーセキュリティ製品とソリューションを提供。 |
| 4726 | SBテクノロジー | プライム | 2940 | 子会社にセキュリティ対策のサイバートラスト<4498>。 |
| 4847 | IWI | プライム | 1160 | 金融機関向けサイバー攻撃対策ソリューションを手掛ける。 |
| 7518 | ネットワンシステムズ | プライム | 3032 | サイバー攻撃に対する総合的な対策を提供。 |
| 9692 | シーイーシー | プライム | 2081 | 総合セキュリティソリューションを手掛け、診断も事業化。 |
| 9889 | JBCCHD | プライム | 3705 | FFRIセキュリティ<3692>とセキュリティ事業で協業。 |

出所：フィスコ作成

株価の出遅れ感が意識される好業績銘柄を見直したい局面

■今週から国内でも主力企業の4-6月期決算発表がスタート

今週18日のディスコ<6146>を皮切りに、4-6月期の決算発表がスタートする。好決算銘柄に注目したいところだが、全体相場が高値圏にある中で、決算発表が出尽くしにつながるような銘柄も多くなるとみられる。前期に続いて、今期も30%以上の営業増益を続ける見通しの銘柄の中で、前回の決算発表を挟んだここ3カ月間の株価パフォーマンスがマイナスと、出遅れ感が意識されるものをスクリーニングしている。見直しの動きが先行するような展開も想定したい。

スクリーニング要件としては、①3月期本決算、②時価総額200億円以上、③前期実績、今期見通しともに30%以上の営業増益、④今期予想含めた3期間での営業利益年平均成長率が20%以上、⑤4月12日からの株価パフォーマンスがマイナス。

■見直し期待の好業績銘柄

| コード | 銘柄 | 市場 | 7/12株価 (円) | 時価総額 (億円) | 株価騰落率 (%) | PBR (倍) | 予想 1株利益 (円) |
|------|-------------|--------|---------------|--------------|--------------|------------|-------------------|
| 1898 | 世紀東急工業 | プライム | 1,756.0 | 674.6 | -3.14 | 1.58 | 101.46 |
| 3708 | 特種東海製紙 | プライム | 3,750.0 | 558.8 | -0.27 | 0.58 | 363.42 |
| 4228 | 積水化成品工業 | プライム | 461.0 | 216.6 | -8.17 | 0.37 | 18.73 |
| 5741 | UACJ | プライム | 3,885.0 | 1,877.5 | -14.71 | 0.68 | 321.44 |
| 5852 | アーレスティ | プライム | 780.0 | 203.4 | -6.36 | 0.38 | 78.07 |
| 6118 | アイダエンジニアリング | プライム | 887.0 | 616.0 | -1.55 | 0.64 | 73.04 |
| 6958 | 日本シイエムケイ | プライム | 603.0 | 380.4 | -0.17 | 0.66 | 49.14 |
| 7259 | アイシン | プライム | 5,354.0 | 15,776.9 | -12.64 | 0.68 | 482.31 |
| 7868 | 広済堂HD | プライム | 565.0 | 809.0 | -16.42 | 1.75 | 36.40 |
| 9009 | 京成電鉄 | プライム | 5,266.0 | 9,079.2 | -12.44 | 1.90 | 289.16 |
| 9268 | オプティマスグループ | スタンダード | 610.0 | 459.9 | -39.30 | 1.76 | 79.83 |

(注) 株価騰落率は4/12比

出所：フィスコアプリより作成

「もしトラ」から恩恵を受ける可能性がある日本株

■金融やオールドエコノミー株が「もしトラ」恩恵銘柄と予想

みずほ証券では、6月27日に開催された米大統領選挙に向けた第1回のテレビ討論会後に、11月5日の大統領選挙で「もしトラ」が現実のものになるとの見通しが高まってきたことに着目している。トランプ前大統領の勝利は株高につながるの見方が根強く、2016年にトランプ前大統領が当選した際には、米国株だけでなく日本株でも金融やオールドエコノミー株がアウトパフォームしていたと分析。今回もトランプ前大統領が当選すれば、(1)景気刺激策で長期金利が上昇し、金融株が追い風、(2)再エネから化石燃料への再転換で、エネルギーが上昇、(3)中国やメキシコ関連株に打撃である一方、米国生産比率を高める企業に恩恵等の物色が予想される、と推察している。また、日本は岸田政権下で既に防衛費の大幅増加を打ち出しているが、トランプ前大統領の軍事費肩代わり要求から、防衛関連株が再注目される可能性があると指摘している。そのほか、仮想通貨関連株が恩恵を受ける可能性にも言及している。ただ、トランプ前大統領の経済政策の詳細を待つ必要はある。

「もしトラ」から恩恵を受ける可能性がある日本株(みずほ証券)

| コード | 銘柄 | 恩恵を受ける理由 | 7/4株価(円) | 時価総額(10億円) | 年初来株価変化率(%) | 23年度米国売上比率(%) | 24年度東洋経済予想 | |
|------|-------------|----------|----------|------------|-------------|---------------|------------|-----------|
| | | | | | | | 予想PER(倍) | 純利益変化率(%) |
| 1605 | INPEX | 化石燃料 | 2,475 | 3,116.4 | 30.0 | - | 8.7 | -3.1 |
| 1911 | 住友林業 | 米国住宅投資 | 5,146 | 1,060.4 | 22.4 | 45.3 | 10.1 | 2.9 |
| 1963 | 日揮HD | 化石燃料 | 1,285 | 333.3 | -21.1 | 19.6 | 14.5 | 黒字 |
| 1928 | 積水ハウス | 米国住宅投資 | 3,583 | 2,375.5 | 14.4 | - | 11.4 | 3.3 |
| 4063 | 信越化学工業 | 米国インフラ投資 | 6,470 | 12,950.9 | 9.3 | 31.6 | 23.3 | 5.7 |
| 5020 | ENEOS HD | 化石燃料 | 849 | 2,575.8 | 51.6 | - | 12.3 | -27.1 |
| 5233 | 大平洋セメント | 米国インフラ投資 | 4,141 | 489.4 | 42.5 | 31.5 | 7.9 | 43.3 |
| 5803 | フジクラ | 米国インフラ投資 | 3,099 | 916.9 | 185.8 | 37.3 | 18.3 | -2.0 |
| 6301 | コマツ | 米国インフラ投資 | 4,987 | 4,856.4 | 35.2 | 45.0 | 13.0 | -8.0 |
| 6326 | クボタ | 米国インフラ投資 | 2,307 | 2,714.6 | 8.7 | 41.5 | 12.0 | -5.2 |
| 6841 | 横河電機 | 化石燃料 | 3,968 | 1,065.9 | 47.6 | 9.8 | 21.8 | -20.6 |
| 7011 | 三菱重工業 | 防衛費増加 | 2,021 | 6,818.1 | 145.2 | 22.6 | 29.6 | 3.6 |
| 7012 | 川崎重工業 | 防衛費増加 | 5,978 | 1,003.8 | 91.7 | 29.8 | 12.9 | 207.4 |
| 8306 | 三菱UFJFG | 米金利上昇 | 1,828 | 22,547.2 | 50.8 | - | 14.8 | 2.0 |
| 8601 | 大和証券G本社 | 株価上昇 | 1,280 | 2,008.8 | 34.9 | - | 14.9 | 11.1 |
| 8604 | 野村HD | 株価上昇 | 966 | 3,056.0 | 51.5 | - | 16.5 | 11.5 |
| 8698 | マネックスG | 仮想通貨 | 715 | 184.4 | -0.6 | - | 21.7 | -72.8 |
| 8750 | 第一生命HD | 米金利上昇 | 4,698 | 4,475.7 | 57.0 | - | 13.9 | 0.7 |
| 8766 | 東京海上HD | 米金利上昇 | 6,273 | 12,408.0 | 77.8 | - | 14.3 | 25.0 |
| 9449 | GMOインターネットG | 仮想通貨 | 2,567 | 280.2 | 0.1 | - | 17.5 | 12.7 |

注:データは7月4日時点。このリストは推奨銘柄でない

出所:QUICK Astra Manager よりみずほ証券エクイティ調査部作成

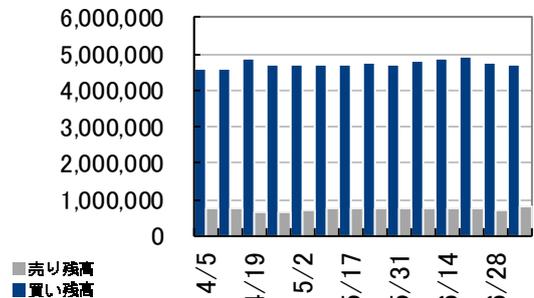
さらに買い方の利益確定が進む

7月5日時点の2市場信用残高は、買い残高が363億円減の4兆7170億円、売り残高が767億円増の8015億円。買い残高が2週連続で減少、売り残高も2週間ぶりの増加となった。また、買い方の評価損益率は-5.12から-4.63%、売り方の評価損益率は+6.55%から+0.09%に。なお、信用倍率は6.56倍から5.88倍。

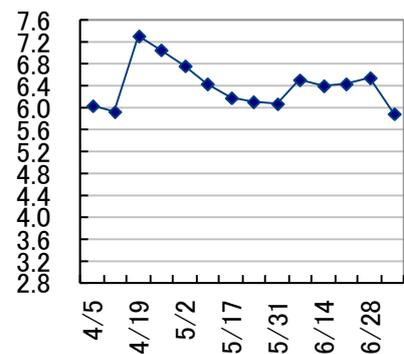
この週(7月1日-5日)の日経平均は前週末終値比1329.29円高の40912.37円。7月30-31日に開催される日本銀行の金融政策決定会合に対する思惑などを背景に長期金利の指標となる新発10年物国債利回りが1.100%まで上昇。これを受けて引き続き三菱UFJ<8306>など金融株が買われたほか、1-3月にさほど買われていなかった電子機器関連が上昇。プライム市場の売買代金はさほど膨らんでいないが、先物市場で断続的な買戻しと見られる買いも観測されたことから、日経平均、TOPIXはそろって7月4日、史上最高値を更新。同時にプライム市場の時価総額も史上初の1000兆円台に乗せた。

個別では、ホンダ<7267>の信用倍率は6.55倍と、前週の39.28倍から取り組みが改善した。大手損保4社や三菱UFJ銀行などが7月中に同社の株を売り出すと発表。金額は5000億円規模で発行済み株式数の6%に相当するとして、需給悪化を警戒した新規売りが積み上がったようだ。また、スクリン<7735>の信用倍率は9.52倍と、前週の25.13倍から取り組みが改善した。3月高値をピークに調整を継続していたが、半導体株への物色が波及する形でリバウンドを強めてきたことで、戻り待ち狙いの新規売りが積み上がったようである。その他、川崎船<9107>は前週から売り長の需給状況に。紅海でのコンテナ輸送を巡る混乱からコンテナ運賃の上昇が続くとみられるなか、収益改善期待の買いから高値を更新しており、買い方の利益確定の売りに対して、新規売りが積み上がったようだ。

信用残高 金額ベース 単位：百万円



信用倍率 (倍)



取組みが改善した銘柄

| コード | 市場 | 銘柄 | 7/12終値 (円) | 信用買残 (7/5:株) | 信用売残 (7/5:株) | 信用倍率 (7/5:倍) | 信用買残 (6/28:株) | 信用売残 (6/28:株) | 信用倍率 (6/28:倍) |
|------|------|----------|------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 1946 | プライム | トーエネック | 5,050.0 | 161,700 | 276,100 | 0.59 | 24,500 | 4,500 | 5.44 |
| 7267 | プライム | ホンダ | 1,703.5 | 12,994,600 | 1,985,000 | 6.55 | 11,790,500 | 300,200 | 39.28 |
| 4385 | プライム | メルカリ | 2,389.0 | 5,625,700 | 1,583,700 | 3.55 | 7,972,300 | 581,100 | 13.72 |
| 3436 | プライム | SUMCO | 2,573.0 | 3,459,500 | 490,300 | 7.06 | 4,675,500 | 234,700 | 19.92 |
| 6273 | プライム | SMC | 81,320.0 | 96,400 | 20,000 | 4.82 | 129,100 | 9,500 | 13.59 |
| 7741 | プライム | HOYA | 20,525.0 | 74,900 | 64,800 | 1.16 | 116,700 | 36,600 | 3.19 |
| 7735 | プライム | スクリン | 15,645.0 | 2,016,300 | 211,700 | 9.52 | 2,432,100 | 96,800 | 25.13 |
| 7259 | プライム | アイシン | 5,354.0 | 1,377,000 | 2,416,200 | 0.57 | 1,209,000 | 977,300 | 1.24 |
| 4519 | プライム | 中外薬 | 6,284.0 | 357,000 | 178,600 | 2.00 | 477,300 | 110,000 | 4.34 |
| 9107 | プライム | 川崎船 | 2,410.5 | 6,435,800 | 7,719,200 | 0.83 | 9,244,500 | 5,446,900 | 1.70 |
| 7201 | プライム | 日産自 | 556.4 | 41,430,100 | 2,035,800 | 20.35 | 47,312,300 | 1,229,500 | 38.48 |
| 6861 | プライム | キーエンス | 74,240.0 | 143,100 | 106,400 | 1.34 | 185,900 | 74,800 | 2.49 |
| 3099 | プライム | ミツコシイセタン | 3,496.0 | 1,018,000 | 1,541,900 | 0.66 | 1,401,600 | 1,175,500 | 1.19 |
| 8200 | プライム | リングハット | 2,218.0 | 75,600 | 892,800 | 0.08 | 87,800 | 608,200 | 0.14 |
| 6301 | プライム | コマツ | 4,745.0 | 1,565,000 | 363,200 | 4.31 | 1,634,200 | 213,500 | 7.65 |

コラム: 世界最安通貨の下げ渋り

世界最安通貨のイランリアルが闇市場で下げ渋る場面が目立ちます。大統領選で改革派の候補が勝利し、欧米との対話再開による経済の回復が期待されているためです。ただ、11月の米大統領選の結果次第では対米関係を修復できず、逆戻りのリスクも想定されます。

現職大統領のヘリコプター墜落事故による死亡を受け、イランでは6月28日に大統領選が行われました。今月5日の決戦投票で改革派のペゼシュキアン元保健相が前政権の反欧米路線を受け継ぐ保守穏健派候補を破って当選。機能不全となった「核合意」を再開させ、経済の立て直しを進める方針です。通貨リアルは結果を受け、1ドル=59500リアルと安値圏でのみ合いがみられます。

欧米と協調関係を再構築できるかどうか、イランの浮沈の決め手になりそうです。米英独仏中口の6カ国とイランが2015年に合意したイランの核開発をめぐる包括的共同作業計画は、穏健派のロウハニ政権下で合意に向かっていました。にもかかわらず、アメリカは2017年にトランプ政権が発足し協議を離脱すると、対イラン経済制裁を再開。その効果によりイラン経済は長期にわたり混乱が続いています。

リアルは世界最弱通貨となり、慢性的なインフレを招き国民生活を圧迫しています。ここ数年は最高指導者のハメネイ師を独裁者呼ばわりする反政府デモが首都テヘランを中心に頻発。事故死した保守強硬派のライシ師は、2022年に政府への抗議活動に参加した女性に対し暴力的な弾圧を繰り返してきました。このように、一般有権者の政府への反発が今回の選挙結果につながったと考えられます。

しかし、核合意再開による制裁解除は、そう簡単ではありません。11月の米大統領選に向け6月に行われた候補者討論会で、バイデン大統領の高齢問題が露呈しました。民主党はこのままバイデン氏を指名候補とするか、それとも新たに候補者を擁立するか注目されています。トランプ氏再登板なら、イスラエルと歩調を合わせイランへの批判を強め、制裁をむしろ強化させるでしょう。

ペゼシュキアン師はハメネイ師から、ライシ師の路線を引き継ぐよう求められています。ライシ師は強硬派とはいえ、中国の仲介により湾岸諸国との関係を立て直した実績もありました。改革派のペゼシュキアン師に期待されるのは保守強硬路線の継承ではなく、開放的な新しい国造りかもしれません。そんな思惑がリアルを支えているようです。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

| | | | |
|---|------------|---------------|-----|
| 1 | スケジュール | 経済カレンダー | 2-4 |
| | | 決算カレンダー | 5 |
| 2 | レーティング | 格上げ・買い推奨 | 6 |
| | | 格下げ・売り推奨 | 7 |
| 3 | 投資主体別売買動向 | 総括コメント | 8 |
| | | 市場別データ | 9 |
| 4 | 新規上場銘柄 | 結果とスケジュール | 10 |
| 5 | 一目均衡表雲抜け銘柄 | 雲上抜け銘柄 (プライム) | 11 |
| | | 雲下抜け銘柄 (プライム) | 12 |

7月15日~7月21日※全て日本時間で表示

| 日付 | 曜日 | 時間 | 内容 | |
|-------|----|----------|--|---|
| 7月15日 | 月 | 10:20 | 中・1年物中期貸出ファンリティ金利 | |
| | | 10:30 | 中・新築住宅価格(6月) | |
| | | 10:30 | 中・中古住宅価格(6月) | |
| | | 11:00 | 中・GDP(4-6月) | |
| | | 11:00 | 中・鉱工業生産(6月) | |
| | | 11:00 | 中・小売売上高(6月) | |
| | | 11:00 | 中・固定資産投資(都市部)(6月) | |
| | | 11:00 | 中・不動産投資(6月) | |
| | | 11:00 | 中・住宅販売(6月) | |
| | | 11:00 | 中・調査失業率(6月) | |
| | | 15:30 | 印・卸売物価指数(6月) | |
| | | 18:00 | 欧・ユーロ圏鉱工業生産指数(5月) | |
| | | 20:25 | ブ・週次景気動向調査 | |
| | | 21:00 | ブ・経済活動(5月) | |
| | | 21:30 | 米・ニューヨーク連銀製造業景気指数(7月) | |
| | | 27:00 | ブ・貿易収支(先週) | |
| | | | | 株式市場は祝日のため休場(海の日) |
| | | | | 中・資金調達総額(6月、15日まで) |
| | | | | 中・マネーサプライ(6月、15日まで) |
| | | | | 中・元建て新規貸出残高(6月、15日まで) |
| | | | | 印・輸出(6月) |
| | | | | 印・輸入(6月) |
| | | | | 印・貿易収支(6月) |
| | | | | 米・共和党全国大会(18日まで) |
| | | | | 中・中国共産党、第20期中央委員会第3回全体会議(3中全会、18日まで) |
| | | | | 米・パウエル連邦準備制度理事会(FRB)議長がエコノミック・クラブ・オブ・ワシントンでインタビュー |
| | | | | 米・サンフランシスコ連銀総裁が経済とハイテクについて講演 |
| 7月16日 | 火 | 08:50 | 日銀金融政策決定会合議事録公表(2014年1-6月開催分) | |
| | | 13:30 | 第3次産業活動指数(5月) | |
| | | 18:00 | 独・ZEW期待指数(7月) | |
| | | 18:00 | 欧・ユーロ圏貿易収支(5月) | |
| | | 20:00 | ブ・FGV消費者物価指数(IPC-S)(先週) | |
| | | 21:30 | 米・輸入物価指数(6月) | |
| | | 21:30 | 米・小売売上高(6月) | |
| | | 21:30 | 加・消費者物価指数(6月) | |
| | | 23:00 | 米・NAHB住宅市場指数(7月) | |
| | | 23:00 | 米・企業在庫(5月) | |
| | | | | 米・クーグラーFRB理事が会議で閉会の辞 |
| | | | | 欧・欧州中央銀行(ECB)が四半期銀行貸し出し調査発表 |
| | | | | 独・5年債入札 |
| | | 英・20年債入札 | | |
| 7月17日 | 水 | 07:45 | NZ・消費者物価指数(4-6月) | |
| | | 10:10 | 国債買入れオペ(残存1-3年、残存5-10年、残存10-25年)(日本銀行) | |
| | | 15:00 | 英・消費者物価コア指数(6月) | |
| | | 15:00 | 英・生産者物価産出指数(6月) | |
| | | 16:15 | 訪日外客数(6月) | |
| | | 18:00 | 欧・ユーロ圏CPI(6月) | |
| | | 20:00 | ブ・FGV消費者物価指数(IGP-10)(7月) | |
| | | 21:30 | 米・住宅着工件数(6月) | |
| | | 21:30 | 米・住宅建設許可件数(6月) | |
| | | 22:15 | 米・鉱工業生産指数(6月) | |
| | | 22:15 | 米・設備稼働率(6月) | |
| | | | | 米・地区連銀経済報告(ページブック)公表 |
| | | | | 米・リッチモンド連銀総裁が講演 |
| | | | | 独・30年債入札 |
| | | | | 英・5年債入札 |

7月15日~7月21日※全て日本時間で表示

| 日付 | 曜日 | 時間 | 内容 |
|-------|---------------------------------------|-------|--|
| 7月18日 | 木 | 08:50 | 貿易収支(6月) |
| | | 08:50 | 輸出(6月) |
| | | 08:50 | 輸入(6月) |
| | | 10:00 | 中・SWIFTグローバル支払いCNY(6月) |
| | | 10:30 | 豪・失業率(6月) |
| | | 15:00 | 欧・ユーロ圏新車販売台数(6月) |
| | | 15:00 | 英・失業率(6月) |
| | | 21:15 | 欧・欧州中央銀行(ECB)が政策金利発表、ラガルド総裁が記者会見 |
| | | 21:30 | 米・新規失業保険申請件数(先週) |
| | | 21:30 | 米・フィラデルフィア連銀製造業景況指数(7月) |
| | | 23:00 | 米・景気先行指数(6月) |
| | | 29:00 | 米・対米証券投資(5月) |
| | | | カドス・コーポレーションが東証スタンダードに新規上場(公開価格:2900円) |
| | | | 南ア・南アフリカ準備銀行(中央銀行)が政策金利発表 |
| | | | 米・ボウマンFRB理事が基調講演 |
| | 米・ダラス連銀総裁が会議で開会の辞 | | |
| | 米・サンフランシスコ連銀総裁がダラス連銀とアトランタ連銀共催の座談会に参加 | | |
| 7月19日 | 金 | 08:30 | 消費者物価コア指数(6月) |
| | | 08:50 | 対外・対内証券投資(先週) |
| | | 15:00 | 英・小売売上高指数(6月) |
| | | 17:00 | 欧・ユーロ圏経常収支(5月) |
| | | 21:30 | 加・小売売上高(5月) |
| | | | 印・外貨準備高(先週) |
| | | | 米・ニューヨーク連銀総裁がパネル討論会に参加 |
| | | | 米・アトランタ連銀総裁が会議で閉会の辞 |
| | | | 欧・ECB専門家予測調査 |
| 7月21日 | 日 | | ラオス・ASEAN(東南アジア諸国連合)外相関連会議(27日まで) |

■(中)4-6 月期国内総生産**7月15日(月)午前11時発表予定**

(予想は、前年比+5.0%) 参考となる1-3月期の成長率は前年同期比+5.3%。生産や投資が堅調だった。4-6月期については不動産市況の低迷が続いていること、個人消費や投資の伸びは期待できないことから、成長率は鈍化する可能性が高い。

■(米)6 月小売売上高**7月16日(火)午後9時30分発表予定**

(予想は、前月比-0.2%) 参考となる5月実績は前月比+0.1%。自動車・同部品の売り上げが好調だった。6月については実質所得の伸びが鈍化していること、金利高の影響が続いていることから、前月比で減少する可能性がある。

■(日)6 月貿易収支**7月18日(木)午前8時50分発表予定**

(予想は、-2310億円) 先行指標となる6月上中旬の貿易収支は-3768億円で貿易赤字額は前年同期比+247.2%と急増。前年6月の貿易収支は+365億円だったことから、今年6月の貿易収支は2000億円程度の赤字となる可能性がある。

■(欧)欧州中央銀行(ECB)政策金利発表**7月18日(木)午後9時15分発表予定**

(予想は、政策金利の据え置き) 前回の理事会では経済成長に対するリスクは中期的に下向きであること、インフレ抑制の見通しがあることから、政策金利の引き下げを決定した。今回の理事会では貸金動向を分析し、早い時期に追加利下げが必要となるかどうか議論される見込み。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

| 日付 | コード | 銘柄 | 上場部名 | 時刻 |
|-------|------|----------|--------|-------|
| 7月16日 | 1887 | 日本国土 | プライム | - |
| | 190A | Chordia | グロース | - |
| | 2404 | 鉄人化HD | スタンダード | - |
| | 2927 | AFC-HD | スタンダード | - |
| | 3021 | PCNET | スタンダード | - |
| | 3094 | スーパーV | スタンダード | - |
| | 3181 | 買取王国 | スタンダード | - |
| | 3189 | ANAP | スタンダード | - |
| | 3548 | パロック | プライム | - |
| | 3810 | サイバーS | スタンダード | - |
| | 3823 | WHYHOWDO | スタンダード | - |
| | 3826 | システムインテ | スタンダード | - |
| | 4197 | アスマーク | スタンダード | - |
| | 4199 | ワンプラ | グロース | - |
| | 4433 | ヒコムHD | プライム | - |
| | 5025 | マーキュリーRI | グロース | - |
| | 6150 | タタ機 | スタンダード | - |
| | 6814 | 古野電 | プライム | - |
| | 6866 | 日置電 | プライム | 15:00 |
| | 7077 | ALiNK | グロース | - |
| | 7388 | FPパートナー | プライム | - |
| | 7610 | テイツー | スタンダード | - |
| | 7808 | CSランパー | スタンダード | - |
| | 7997 | くろ工 | スタンダード | - |
| | 8167 | リテールPT | プライム | - |
| | 8254 | サイカ屋 | スタンダード | - |
| | 9381 | AIT | プライム | - |
| | 9602 | 東宝 | プライム | - |
| 9979 | 大庄 | スタンダード | - | |
| 7月18日 | 3091 | プロコB | プライム | 15:00 |
| | 6146 | ディスコ | プライム | 16:00 |
| 7月19日 | 2268 | サーティワン | スタンダード | 15:00 |
| | 2411 | ゲンダイAG | スタンダード | 15:00 |
| | 4929 | アジュバンH | スタンダード | 15:00 |
| | 5933 | アルインコ | プライム | 15:00 |
| | 8617 | 光世証 | スタンダード | 14:00 |

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

| 日付 | 証券会社 | コード | 社名 | レーティング | 目標株価(円) |
|-------|--------|------|---------------------------|----------------------------|---------------|
| 7月8日 | みずほ | 9433 | KDDI | 中立→買い格上げ | 4400→5000 |
| | 東海東京 | 2935 | ピックアップスHD | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 1300→1010 |
| 7月9日 | JPモルガン | 3407 | 旭化成 | NEUTRAL→OVERWEIGHT格上げ | 1000→1500 |
| | SMBC日興 | 3466 | ラサールロジ | 2→1格上げ | 177000→178000 |
| | モルガン | 5991 | ニッパツ | EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ | 1700→2000 |
| 7220 | | 武蔵精密 | EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ | 1900→2400 | |
| 7月10日 | SMBC日興 | 2809 | キューピー | 2→1格上げ | 3500→4200 |
| | いちよし | 9889 | JBCC HD | A新規 | 6800 |
| | シティ | 7211 | 三菱自 | 2→1格上げ | 500→610 |
| | モルガン | 6806 | ヒロセ電 | EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ | 17000→22500 |
| 7月11日 | JPモルガン | 5232 | 住友大阪 | NEUTRAL→OVERWEIGHT格上げ | 4300→5100 |
| | ゴールドマン | 2212 | 山崎パン | 中立→買い格上げ | 4050 |
| | | 5110 | 住友ゴム | 売り→中立格上げ | 1650→1700 |
| | モルガン | 4293 | セブテーニHD | UNDERWEIGHT→EQUALWEIGHT格上げ | 400→330 |
| | 大和 | 2809 | キューピー | 3→2格上げ | 3200→4400 |
| 7月12日 | 岡三 | 5838 | 楽天銀行 | 中立→強気格上げ | 2950→3550 |
| | 東海東京 | 3031 | ラクーンHD | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 680→1320 |
| | | 6988 | 日東電 | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 14560→14920 |

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

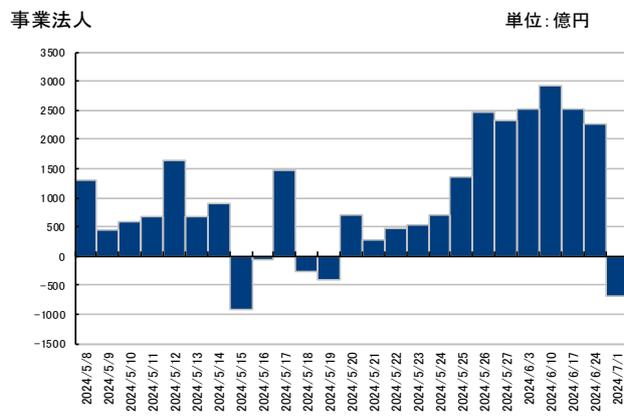
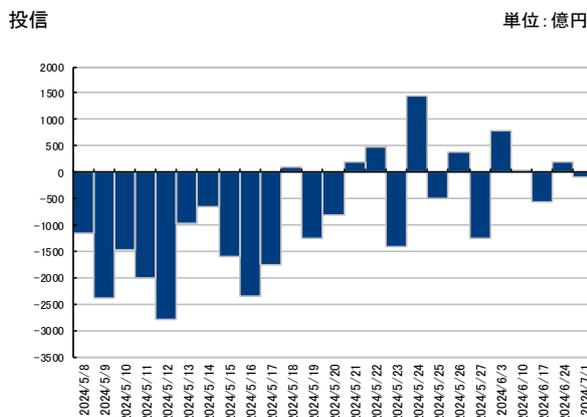
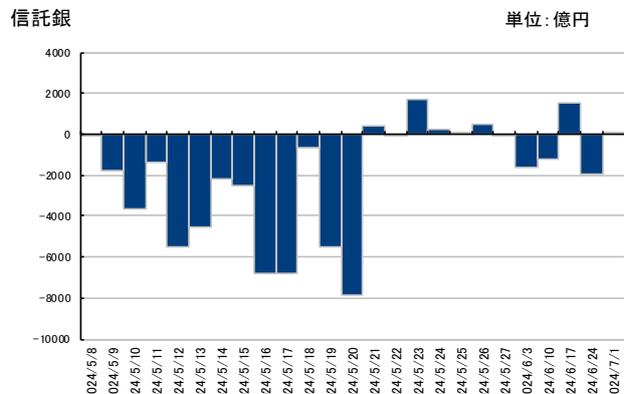
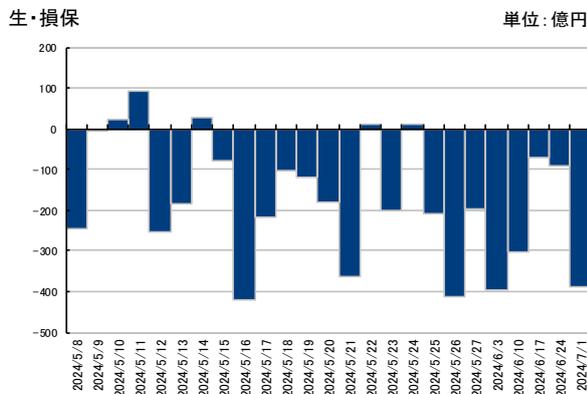
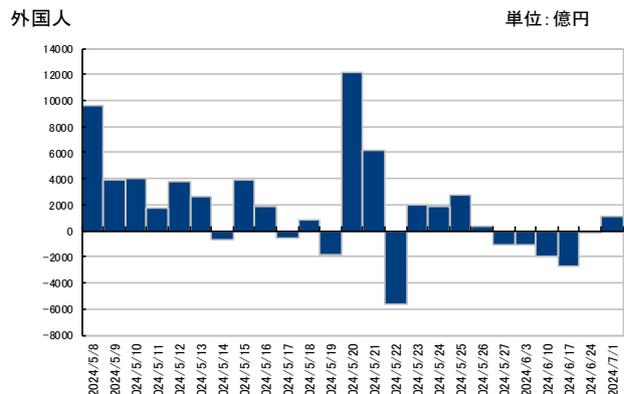
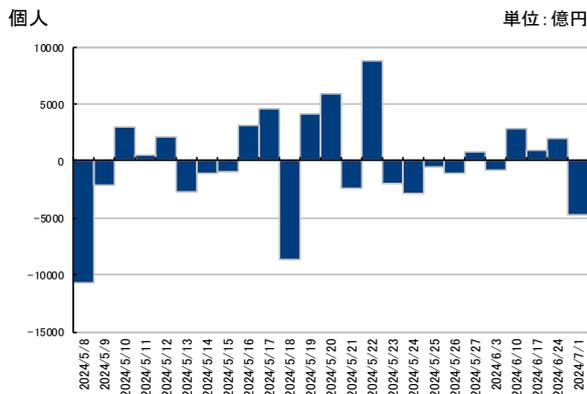
| 日付 | 証券会社 | コード | 社名 | レーティング | 目標株価（円） |
|-------|--------|------|--------|----------------------------|---------------|
| 7月8日 | みずほ | 9432 | NTT | 買い→中立格下げ | 200→170 |
| | 東海東京 | 6448 | ブラザー | OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ | 2500→3200 |
| 7月9日 | SMBC日興 | 8954 | オリックスF | 1→2格下げ | 203000→185000 |
| | モルガン | 6201 | 豊田織 | OVERWEIGHT→EQUALWEIGHT格下げ | 18000→14000 |
| | | 6995 | 東海理電 | EQUALWEIGHT→UNDERWEIGHT格下げ | 2400→2100 |
| | | 7278 | エクセディ | EQUALWEIGHT→UNDERWEIGHT格下げ | 2500 |
| 7月10日 | 東海東京 | 7231 | トピーエ | OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ | 3400→2600 |
| | | 7246 | プレスエ | OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ | 1050→670 |
| 7月11日 | モルガン | 4165 | プレイド | EQUALWEIGHT→UNDERWEIGHT格下げ | 740 |
| | | 4477 | BASE | OVERWEIGHT→EQUALWEIGHT格下げ | 390→320 |
| 7月12日 | 岡三 | 5844 | 京都FG | 強気→中立格下げ | 2625→2925 |

7月第1週:外国人投資家は総合で買い越しを継続

7月第1週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は総合で8630億円と買い越しを継続した。現物、TOPIX先物、225先物すべて買い越しを継続した。個人投資家は総合で5149億円と売り越しを継続した。

そのほか、投信は170億円と売り越しを継続し、都地銀は98億円と売り越しに転じた。生・損保は355億円と売り越しを継続し、事法は1257億円と買い越しに転じ、信託は3870億円と売り越しを継続した。

なお、自己は現物で買い越しを継続し、TOPIX先物で売り越しを継続し、225先物は売り越しに転じ、総合で1409億円と売り越しに転じた。この週の裁定残は前週末比1203.74億円増（買い越し）とネットベースで2兆0094.05億円の買い越しとなった（買い越し幅増加）。週間の騰落率は日経平均で3.36%の上昇だった。



単位:億円

| 現物 | 日付 | 自己 | 個人 | 外国人 | 投信 | 事業法人 | 生・損保 | 都地銀 | 信託銀 |
|----------|----------|--------|--------|--------|--------|------|------|--------|--------|
| | 24/03/25 | 5,261 | 4,113 | ▲1,832 | ▲1,252 | ▲406 | ▲121 | ▲510 | ▲5,495 |
| 24/04/01 | ▲9,671 | 5,836 | 12,110 | ▲823 | 715 | ▲182 | ▲542 | ▲7,845 | |
| 24/04/08 | ▲4,058 | ▲2,372 | 6,138 | 184 | 280 | ▲363 | ▲39 | 404 | |
| 24/04/15 | ▲3,802 | 8,752 | ▲5,618 | 483 | 489 | 11 | ▲353 | ▲41 | |
| 24/04/22 | ▲439 | ▲1,921 | 2,030 | ▲1,412 | 543 | ▲202 | ▲118 | 1,707 | |
| 24/04/30 | ▲1,420 | ▲2,913 | 1,909 | 1,446 | 704 | 10 | 309 | 257 | |
| 24/05/07 | ▲2,522 | ▲528 | 2,701 | ▲499 | 1,363 | ▲208 | ▲248 | 85 | |
| 24/05/13 | ▲2,153 | ▲1,093 | 384 | 374 | 2,477 | ▲412 | ▲24 | 492 | |
| 24/05/20 | ▲840 | 715 | ▲1,017 | ▲1,258 | 2,325 | ▲196 | ▲11 | ▲108 | |
| 24/05/27 | 932 | ▲865 | ▲1,102 | 793 | 2,514 | ▲395 | ▲191 | ▲1,644 | |
| 24/06/03 | ▲2,280 | 2,811 | ▲1,941 | 15 | 2,904 | ▲301 | ▲90 | ▲1,250 | |
| 24/06/10 | ▲2,085 | 975 | ▲2,694 | ▲570 | 2,513 | ▲70 | ▲137 | 1,557 | |
| 24/06/17 | ▲2,557 | 1,910 | ▲185 | 186 | 2,276 | ▲91 | ▲22 | ▲1,918 | |
| 24/06/24 | 4,141 | ▲4,722 | 1,141 | ▲85 | ▲681 | ▲386 | ▲201 | 33 | |
| 24/07/01 | 260 | ▲5,104 | 1,924 | 1,032 | 1,256 | ▲270 | ▲284 | 522 | |

単位:億円

| TOPIX先物 | 日付 | 自己 | 個人 | 外国人 | 投信 | 事業法人 | 生・損保 | 都地銀 | 信託銀 |
|----------|----------|--------|--------|--------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 24/03/25 | ▲1,969 | ▲1,047 | ▲6,002 | 1,993 | ▲10 | 15 | ▲1,482 | 8,692 |
| 24/04/01 | 948 | ▲100 | ▲3,381 | 345 | ▲4 | 193 | 674 | 1,546 | |
| 24/04/08 | ▲118 | ▲221 | 2,603 | 91 | 11 | ▲67 | 493 | ▲2,902 | |
| 24/04/15 | 1,886 | ▲84 | ▲2,424 | 416 | ▲3 | ▲53 | ▲203 | 422 | |
| 24/04/22 | ▲355 | ▲375 | 491 | 313 | ▲4 | ▲22 | 51 | ▲23 | |
| 24/04/30 | ▲769 | 844 | ▲73 | 19 | ▲7 | ▲115 | ▲161 | 205 | |
| 24/05/07 | ▲496 | ▲794 | ▲1,194 | ▲144 | ▲1 | 41 | 2,355 | 210 | |
| 24/05/13 | 776 | 697 | ▲1,797 | 11 | ▲0 | 53 | 33 | 194 | |
| 24/05/20 | ▲808 | ▲547 | 1,137 | 61 | ▲0 | 66 | ▲70 | 106 | |
| 24/05/27 | ▲625 | ▲237 | 1,040 | ▲92 | 5 | ▲109 | 56 | 18 | |
| 24/06/03 | 1,312 | 388 | ▲1,367 | ▲28 | ▲5 | 16 | ▲243 | ▲110 | |
| 24/06/10 | 850 | ▲72 | ▲645 | 67 | 7 | ▲35 | 181 | ▲422 | |
| 24/06/17 | 3,416 | ▲317 | ▲3,158 | ▲42 | 0 | 11 | 80 | 43 | |
| 24/06/24 | ▲3,311 | ▲95 | 1,787 | 180 | ▲2 | ▲81 | ▲48 | 1,560 | |
| 24/07/01 | ▲1,027 | 47 | 2,483 | ▲488 | 2 | 24 | ▲189 | ▲831 | |

単位:億円

| 日経平均先物 | 日付 | 自己 | 個人 | 外国人 | 投信 | 事業法人 | 生・損保 | 都地銀 | 信託銀 |
|----------|----------|-------|--------|--------|-------|------|--------|--------|-----|
| | 24/03/25 | ▲662 | 172 | ▲2,005 | 1,074 | 51 | 0 | 1,557 | 211 |
| 24/04/01 | ▲4,473 | 1,357 | ▲267 | 663 | ▲15 | 567 | 1,169 | 408 | |
| 24/04/08 | 536 | ▲747 | ▲1,880 | 2,064 | ▲93 | 195 | 78 | 183 | |
| 24/04/15 | 1,065 | 614 | ▲866 | 697 | 118 | 0 | ▲1,479 | 221 | |
| 24/04/22 | ▲2,096 | ▲994 | ▲692 | 889 | ▲48 | 0 | 427 | 977 | |
| 24/04/30 | ▲213 | 445 | ▲105 | 413 | ▲11 | ▲7 | ▲12 | ▲201 | |
| 24/05/07 | 1,954 | ▲768 | ▲2,300 | 37 | ▲5 | 14 | 821 | 324 | |
| 24/05/13 | ▲104 | 914 | ▲614 | ▲332 | ▲20 | 1 | 316 | ▲236 | |
| 24/05/20 | 41 | ▲387 | 316 | ▲546 | 46 | ▲10 | 640 | ▲352 | |
| 24/05/27 | ▲1,199 | ▲446 | 350 | 513 | 12 | 1 | 386 | 456 | |
| 24/06/03 | 1,020 | 339 | ▲59 | ▲754 | ▲2 | 0 | ▲262 | ▲274 | |
| 24/06/10 | ▲2,990 | 158 | 3,821 | 450 | ▲26 | ▲94 | 51 | ▲1,408 | |
| 24/06/17 | 3,304 | ▲725 | ▲3,049 | ▲15 | ▲17 | 0 | ▲488 | 956 | |
| 24/06/24 | 1,002 | ▲578 | 922 | ▲387 | ▲90 | 0 | 989 | ▲1,866 | |
| 24/07/01 | ▲642 | ▲92 | 4,223 | ▲714 | ▲1 | ▲109 | 375 | ▲3,561 | |

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

| 銘柄名 | コード | 市場 | 上場日 | 仮条件 (円) | 公募株数 (株) | 売出株数 (株) | 公募価格 (円) | 初値 (円) | 主幹事 | 7/12終値 (円) |
|---------------|---|----------------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------------|---------------|
| カドス・コーポレーション | 211A | スタンダード | 7/18 | 2,850~2,900 | 198,000 | 296,500 | 2,900 | - | SMBC日興 | - |
| 事業内容: | 土地活用の提案から設計・施工までトータルプロデュースすることにより、流通店舗の建築工事を受注する建設事業及び当該店舗等をテナント企業に賃貸する不動産事業 | | | | | | | | | |
| フィットイージー | 212A | スタンダード 名メイン | 7/23 | 950~990 | 900,000 | 4,045,000 | 990 | - | 大和 | - |
| 事業内容: | アミューズメントフィットネスクラブの運営、企画、FC展開事業 | | | | | | | | | |
| タイミー | 215A | グロース | 7/26 | 1,350~1,450 | 0 | 32,310,800 | - | - | 大和、MUMSS、 モルガン | - |
| 事業内容: | スキマバイトサービス「タイミー」の運営等 | | | | | | | | | |
| Liberaware | 218A | グロース | 7/29 | 295~310 | 1,700,000 | 1,444,900 | - | - | SMBC日興 | - |
| 事業内容: | 屋内狭小空間点検ドローン「IBIS」をベースにしたドローン等の開発と、点検サービス、ドローンのレンタル・販売、及びドローン等で収集したデータの処理・解析するサービスを提供 | | | | | | | | | |
| Heartseed | 219A | グロース | 7/30 | 1,110~1,160 | 1,801,700 | 0 | - | - | SMBC日興 | - |
| 事業内容: | 重症心不全患者を対象とした iPS 細胞由来心筋球移植治療をはじめとする再生医療等製品の研究・開発 | | | | | | | | | |
| Faber Company | 220A | スタンダード | 7/31 | 940~1,000 | 320,000 | 751,400 | - | - | SBI | - |
| 事業内容: | デジタルマーケティング自動化ツール「ミエルカ SEO」等SaaS提供、フリーランス人材等を活用したマーケティング支援 | | | | | | | | | |

雲上抜け銘柄(プライム)

| コード | 銘柄 | 終値 (円) | 先行スパンA (円) | 先行スパンB (円) | コード | 銘柄 | 終値 (円) | 先行スパンA (円) | 先行スパンB (円) |
|------|---------|-----------|---------------|---------------|------|---------|-----------|---------------|---------------|
| 1938 | 日リーテック | 1265 | 1257 | 1171.5 | 2181 | バーソルHD | 259 | 242.25 | 252.5 |
| 2201 | 森永菓 | 2651 | 2595 | 2348.5 | 2220 | 亀田菓 | 4250 | 4076.25 | 4205 |
| 2305 | スタジオアリス | 2140 | 2103.5 | 2127 | 2440 | ぐるなび | 328 | 300 | 327 |
| 2501 | サッポロHD | 6311 | 5946.5 | 5152 | 2502 | アサヒ | 5762 | 5514.25 | 5061 |
| 2503 | 麒麟HD | 2148 | 2106.25 | 2101 | 2533 | オエノンHD | 428 | 380.75 | 355 |
| 2678 | アスクル | 2150 | 2090 | 1981 | 2752 | フジオフード | 1431 | 1412.5 | 1421 |
| 2871 | ニチレイ | 3594 | 3430.75 | 3157.5 | 3003 | ヒューリック | 1490 | 1452 | 1320 |
| 3046 | JINSHD | 4370 | 4200 | 3874.5 | 3076 | あいHD | 2409 | 2394.25 | 2321 |
| 3407 | 旭化成 | 1054 | 1036 | 1010 | 3569 | セーレン | 2406 | 2360.5 | 2340 |
| 3636 | 三菱総研 | 5300 | 4837.5 | 5150 | 3922 | PRTIMES | 2081 | 1848.25 | 1719 |
| 4023 | クレハ | 2875 | 2837.25 | 2842.5 | 4212 | 積水樹脂 | 2547 | 2453.25 | 2248.5 |
| 4218 | ニチバン | 1907 | 1819.25 | 1904 | 4362 | 日本精化 | 3015 | 2825.75 | 2715 |
| 4547 | キッセイ薬 | 3255 | 3200.5 | 3008 | 4681 | リゾートトラ | 2440 | 2356 | 2298 |
| 4694 | BML | 3035 | 2873.5 | 2992 | 4718 | 早稲アカ | 1668 | 1657.25 | 1510 |
| 4812 | 電通総研 | 5260 | 5257.5 | 5047.5 | 4985 | アース製菓 | 5010 | 4737.5 | 4852.5 |
| 5192 | 三星ベルト | 4560 | 4557.5 | 4295 | 6136 | OSG | 2044 | 1951.75 | 1922.5 |
| 6143 | ソディック | 746 | 737.75 | 725 | 6481 | THK | 3092 | 2829.75 | 2925.5 |
| 6741 | 日信号 | 1042 | 962 | 1036 | 6754 | アンリツ | 1252 | 1234 | 1171.5 |
| 7408 | ジャムコ | 1605 | 1547 | 1581.5 | 7419 | ノジマ | 1628 | 1621 | 1583.5 |
| 8252 | 丸井G | 2414 | 2390.25 | 2292 | 8999 | グランディ | 627 | 613 | 596 |
| 9039 | サカイ引越 | 2655 | 2640.25 | 2503.5 | 9081 | 神奈中交 | 3200 | 3089 | 3154 |
| 9247 | TREHD | 1330 | 1152 | 1304.5 | 9273 | コア商事HD | 726 | 722.25 | 702.5 |
| 9449 | GMO | 2591 | 2520.25 | 2555 | 9616 | 共立メンテ | 2973 | 2929.25 | 2834.5 |
| 9658 | ビジ太昭 | 2269 | 2133.75 | 2185 | 9830 | トラスコ中山 | 2488 | 2378 | 2339.5 |
| 9832 | オートバックス | 1588 | 1563 | 1525.5 | 9843 | ニトリHD | 17330 | 17072.5 | 17032.5 |
| 9962 | ミスミG | 2820 | 2358.5 | 2817 | | | | | |

雲下抜け銘柄(プライム)

| コード | 銘柄 | 終値 (円) | 先行スパンA (円) | 先行スパンB (円) | コード | 銘柄 | 終値 (円) | 先行スパンA (円) | 先行スパンB (円) |
|------|---------|-----------|---------------|---------------|------|---------|-----------|---------------|---------------|
| 1780 | ヤマウラ | 1336 | 1460.25 | 1345.5 | 2410 | キャリアDC | 1834 | 1969 | 1864 |
| 2804 | ブルソース | 2016 | 2132.25 | 2039 | 3232 | 三重交通GHD | 561 | 591.5 | 564 |
| 3382 | 7&iHD | 1814 | 1867.5 | 1943.5 | 3543 | コメダHD | 2617 | 2796 | 2675.5 |
| 4554 | 富士製菓 | 1532 | 1655.25 | 1542 | 5702 | 大紀アルミ | 1265 | 1267.5 | 1355.5 |
| 5851 | リョービ | 2234 | 2911.25 | 2247.5 | 5932 | 三協立山 | 780 | 873 | 822.5 |
| 6293 | 日精樹脂 | 1028 | 1094.25 | 1044.5 | 6430 | ダイコク電 | 3880 | 4016.25 | 4023 |
| 7201 | 日産自 | 556 | 599.5 | 573 | 7433 | 伯東 | 5180 | 5625 | 5242.5 |
| 7550 | ゼンショーHD | 6230 | 7849.5 | 6249.5 | 7868 | 広済堂HD | 565 | 671.5 | 592 |
| 7952 | 河合楽器 | 3185 | 3503.75 | 3292.5 | 9861 | 吉野家HD | 2884 | 3197.75 | 2947 |

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。
＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リートのリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認ください重要な事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

| | | | | | |
|-------|-----------------------------|------------------|-------|-----------------------------------|------------------|
| 本店営業部 | 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8 | TEL:082-245-5000 | 三次支店 | 〒728-0012 三次市十日市中2-13-26 | TEL:0824-62-3121 |
| 今治営業所 | 〒794-0022 今治市室屋町1-1-13 | TEL:0898-55-8280 | 可部支店 | 〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21 | TEL:082-815-2600 |
| 福山支店 | 〒720-0812 福山市霞町1-1-1 | TEL:084-922-1321 | 広島西支店 | 〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4 | TEL:082-277-2700 |
| 岡山営業所 | 〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3 | TEL:086-222-1561 | 東広島支店 | 〒739-0014 東広島市西条昭和田2-7 | TEL:082-422-3621 |
| 府中支店 | 〒726-0004 府中市府川町335-1 | TEL:0847-45-8500 | 廿日市支店 | 〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34 | TEL:0829-31-6611 |
| 尾道支店 | 〒722-0035 尾道市土堂2-7-11 | TEL:0848-23-8121 | 岩国支店 | 〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7 | TEL:0827-22-3161 |
| 因島支店 | 〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3 | TEL:0845-22-2291 | 徳山支店 | 〒745-0034 周南市御幸通2-15 | TEL:0834-31-5350 |
| 竹原支店 | 〒725-0026 竹原市中央5-5-5 | TEL:0846-22-2295 | 宇部支店 | 〒755-0029 宇部市新天町2-3-3 ポスティビル3階 | TEL:0836-31-1105 |
| 三原支店 | 〒723-0014 三原市城町1-25-1 | TEL:0848-67-6681 | 萩支店 | 〒758-0027 萩市吉田町51-11 | TEL:0838-25-2121 |
| 呉支店 | 〒737-0045 呉市本通3-5-4 | TEL:0823-21-6401 | | | |

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>
コールセンター(コール取引) フリーアクセス:0120-506-084